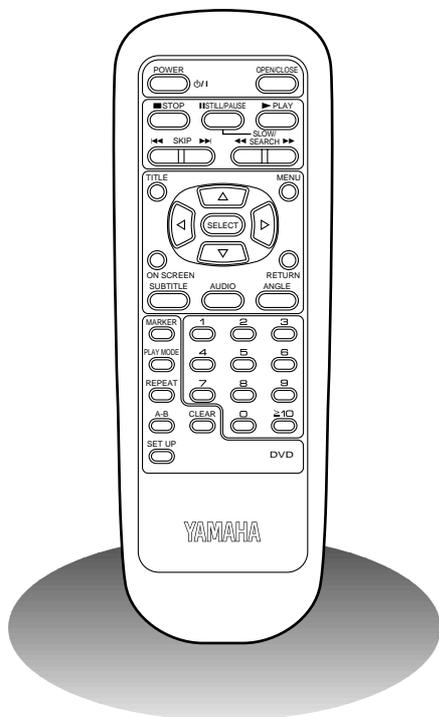
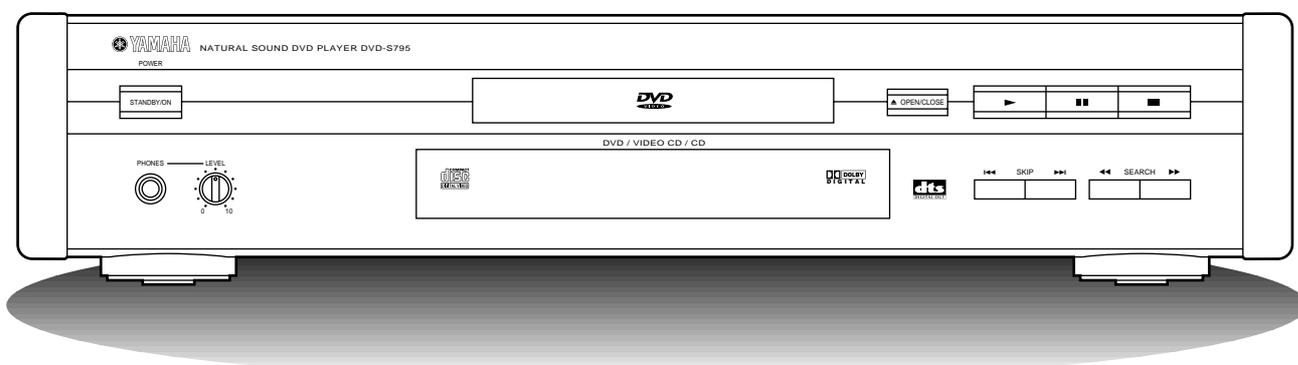


YAMAHA

NATURAL SOUND DVD PLAYER

DVD-S795

取扱説明書



このたびはヤマハ DVD プレーヤー DVD-S795 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

DVD-S795 の優れた性能を十分に発揮させるとともに、永年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずご使用の前にお読みください。

また、お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

本機は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。



ご使用前に必ずお読みください。

特長

高音質を実現

96kHz/24bit オーディオ D/A コンバーター搭載 DVD 規格の最高スペックである 96kHz/24bit リニア PCM 信号を忠実に再生できます。96kHz サンプリング/24bit 音声に対応するために、マルチレベル・デジタルシグマ型 D/A コンバーターのシェーピング・ノイズは 44kHz までフラットを保ち、大切なオーディオ信号への影響を防ぎました。すべてのモードのオーディオを忠実に再現します。

低インピーダンス電源回路採用

電源やデジタル回路からのノイズの混入を根本的にカットし、不要信号成分（ノイズやリップル成分など）のないクリーンな電源供給により、低音域のリアルな重量感と、中高音域のクリアな解像度を実現します。

大型インシュレーター&サイドウッドパネル採用
大型インシュレーターが音のにごりの原因となる外部振動を遮断するため、高い制振性と静粛性を実現し、微小信号への影響を防ぎます。さらに、サイドウッドパネルの採用により、制振性が増すとともに、高級感あるデザインを実現しました。

ドルビーデジタル 5.1ch サラウンドデコーダー搭載 (P.17、48 ページ)

スピーカーの低域再生能力に応じたスピーカーモードの設定、スピーカーレベルの設定、ディレイタイムの設定、音声のダイナミックレンジ圧縮、映画のセリフを聞きやすくするシネマラウドネス機能などを装備したドルビーデジタル 5.1ch サラウンドデコーダーを搭載しました。

dts (digital theater systems) デジタル出力 (P.14 ページ)

dts 信号が記録されたディスクでは、dts デコーダー内蔵アンプと組み合わせると、高音質デジタルサラウンドサウンドが楽しめます。

高画質を実現

10bit ビデオ D/A コンバーター採用
10bit の採用で、忠実な映像を実現します。

色差映像出力端子装備

プロ仕様の高級モニターにも対応できるよう装備しました。色信号の周波数帯域は 3MHz まで対応しているため、鮮やかな色を忠実に再現します。

デジタル処理による多彩な画質モードの実現
デジタルデータのまま処理することで、信号の劣化を抑えました。

DVD 再生時の独自の画質設定としてご使用いただけます。

—映画用画質調整モード (P.19、26 ページ)

GUI 画面を使って、映画ソフトの再生に適した「シネマ」画質が選べます。

また、ご覧になっているソフトの種類に適した画質を選べます。画質には、「ノーマル」、「ソフト」、「ファイン」、「シネマ」の 4 種類があります。

—ユーザー画質設定 (P.26 ページ)

GUI 画面を使って、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「ブライトネス」をお好みに合わせて調整できます。

—モニターセレクト (P.45 ページ)

初期設定の操作で、お使いになるテレビの種類 [標準 (ブラウン管テレビ)、3 管式プロジェクター、液晶プロジェクター、プロジェクションテレビ] を選んでおくと、それぞれに最適の画質が自動的に選ばれます。

マーカー機能 (P.33 ページ)

見たい (聞きたい) 箇所を最大 5 カ所まで記憶できるので、好きなときに見たい (聞きたい) 箇所を楽しむことができます。



本機は、国ごとに割り当てられた番号 (リージョン番号) が DVD ディスクに表示されている場合には、DVD ディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は **2** です。

DVD が実現する多彩な機能

マルチ音声機能 (P.34 ページ)

最大 8 カ国語の音声言語から、お好みの音声言語に切り換えて楽しむことができます。

(音声言語数は、DVD ソフトにより異なります)

マルチ字幕機能 (P.35 ページ)

最大 32 カ国語の字幕言語から、お好みの字幕言語に切り換えて楽しむことができます。

(字幕言語数は、DVD ソフトにより異なります)

マルチアングル機能 (P.35 ページ)

見たいアングル(角度)に変えて楽しむことができます。

(複数のアングルが記録されている DVD ソフトに限ります)

視聴制限機能 (P.40 ページ)

お子様などに見せたくない DVD ソフトを再生できなくすることができます。

グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) 画面 (P.23 ページ)

リモコンの ON SCREEN (画面表示) ボタンを押すことで、本機に関する情報やディスクの情報を、わかりやすくテレビ画面上に表示します。テレビ画面を見ながらリモコンのカーソルボタンを操作することで、本機の操作や設定が簡単にできます。さらに、GUI 画面の色と位置を変えることができます。

本機で再生できるディスクについて

| 再生できるディスク | マーク (ロゴ) | 記録されているもの | ディスクの大きさ | 最大記録時間 |
|-----------|--|-----------|----------|--|
| DVD |  | 音声 + 映像 | 12 cm | 片面ディスク 約 240 分 両面ディスク 約 480 分 |
| | | | 8 cm | 片面ディスク 約 80 分 両面ディスク 約 160 分 |
| ビデオ CD |  | 音声 + 映像 | 12 cm | 74 分 |
| | | | 8 cm | 20 分 |
| 音楽 CD |  | 音声 | 12 cm | 74 分 |
| | | | 8 cm | 20 分 |

お知らせ

下記のディスクは再生できません。
 リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD
 PAL 方式で記録されたディスク
 DVD-ROM DVD-R/DVD-RAM
 CD-ROM VSD CDV
 CD-G CD-RW DVD+RW
 CVD SVCD
 CD-R、フォト CD(絶対に再生しないでください。
 ディスクの内容が壊れるおそれがあります)
 など

用語解説

タイトル、チャプター (DVD)

DVD は、いくつかの大きな区切り (タイトル) と小さな区切り (チャプター) に分けられています。

それぞれの区切りには、番号が割り当てられ、これらの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

トラック (ビデオ CD / 音楽 CD)

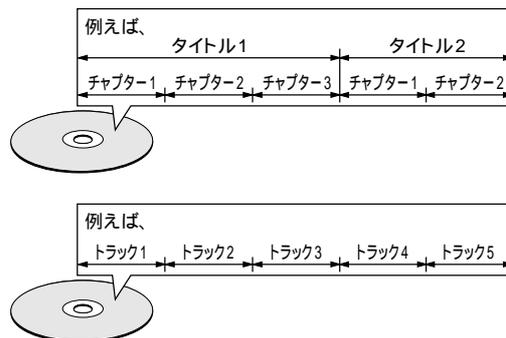
ビデオ CD や音楽 CD は、いくつかの区切り (トラック) に分けられています。この区切りには、番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。

プレイバックコントロール (ビデオ CD)

「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオ CD は、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。

本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

本機はプレイバックコントロール付きビデオ CD に対応しています。



本書 (19 ~ 36 ページ) では、次の記号を使用しています。

DVD ... DVD で楽しめる機能を紹介しています。

VCD ...ビデオ CD で楽しめる機能を紹介しています。

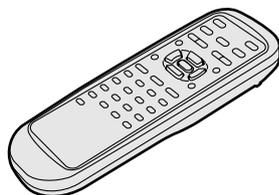
CD ...音楽 CD で楽しめる機能を紹介しています。

付属品のご確認

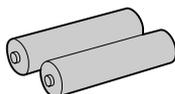


必ず確かめてください。

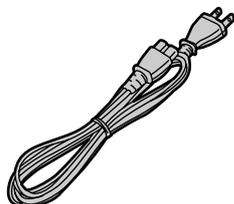
リモコン



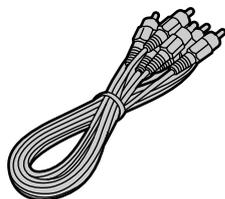
リモコン用乾電池（2本）
単3形（R6P）



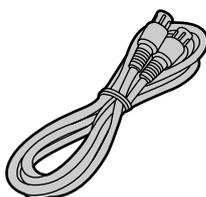
電源コード



映像 / 音声コード



S映像コード



もくじ

はじめに

お読みください

まず

ご準備ください

すぐ

使いたいとき

もっと

使いこなしたいとき

もし

必要なとき

| | |
|--------------------|---|
| 安全上のご注意 | 6 |
| 使用上のお願い | 9 |
| 本機の取扱いについて | 9 |
| 著作権について | 9 |
| ディスクの取扱いについて | 9 |
| 本機のお手入れについて | 9 |

| | |
|-------------------|----|
| 各部のなまえとはたらき | 10 |
| 本体前面 | 10 |
| 本体表示窓 | 11 |
| リモコン | 12 |

| | |
|-------------------|----|
| リモコンの準備 | 13 |
| 乾電池（付属）を入れる | 13 |
| リモコンの使用範囲 | 13 |

| | |
|--|----|
| 接続のしかた | 14 |
| ドルビーデジタルデコーダー / dts デコーダー内蔵 AV アンプと接続する | 14 |

| | |
|---------------------------------------|----|
| 再生してみよう | 18 |
| 再生を止める | 20 |
| 静止（一時停止）する | 20 |
| コマ送り / コマ戻し再生する (DVD/ビデオ CD のみ) | 21 |
| 早送り / 早戻しする | 21 |

| | |
|--|----|
| GUI 画面を使って操作する | 23 |
| テレビ画面に表示されるアイコンの説明 （ディスクの情報画面） | 24 |
| テレビ画面に表示されるアイコンの説明 （本機の情報画面） | 26 |
| テレビ画面に表示されるアイコンの説明 （シャトル画面） | 27 |
| 繰り返し再生する （リピート再生 / A-B リピート再生） | 28 |
| 繰り返し再生する（リピート再生） | 28 |
| 指定した 2 点間を繰り返し再生する （A-B リピート再生） | 29 |
| 好きな順に再生する（プログラム再生） | 30 |

| | |
|--------------------------|----|
| 初期設定を変更する | 37 |
| 「1 ディスク言語」を選んだとき | 38 |
| 言語番号一覧表 | 39 |
| 「2 視聴制限」を選んだとき | 40 |
| 「3 画面メニュー言語」を選んだとき | 42 |
| 「4 オンスクリーン」を選んだとき | 43 |
| 「5 FL ディマー」を選んだとき | 44 |
| 「6 接続する TV」を選んだとき | 45 |

| | |
|---|----|
| デジタル音声出力端子で音声を楽しむ | 16 |
| ヘッドホン（市販）を接続する | 16 |
| ドルビーデジタルデコーダー / dts デコーダーを内蔵していない AV アンプと接続する | 17 |

| | |
|---|----|
| スロー再生する（DVD/ビデオ CD のみ） | 21 |
| 頭出しする | 22 |
| プレイバックコントロール付きビデオ CD の メニュー再生機能を使わずに再生する | 22 |

| | |
|-------------------------------------|----|
| 順不同に再生する（ランダム再生） | 32 |
| 再び見たい（聞きたい）箇所を 記憶する（マーカー） | 33 |
| マークを付ける | 33 |
| マークを付けた箇所を呼び出す / 取り消す | 33 |
| マルチ機能を使う | 34 |
| 音声言語を切り換える（マルチ音声機能） | 34 |
| 字幕言語を切り換える（マルチ字幕機能） | 35 |
| アングル（角度）を切り換える （マルチアングル機能） | 35 |
| メニューを使う | 36 |
| タイトルメニューを使う | 36 |
| DVD メニューを使う | 36 |

| | |
|--------------------------|----|
| 「7 デジタル出力」を選んだとき | 46 |
| 「8 スピーカー設定」を選んだとき | 48 |
| 「9 エキスパート設定」を選んだとき | 50 |

| | |
|---------------------|----|
| 困ったとき!? | 52 |
| サービス番号が表示されたら | 53 |
| 定格 | 54 |
| メモ | 55 |

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

☞ 6～8ページのイラストは、イメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

警告

本機の分解や改造は絶対にしない
(本体カバーを外すなど)



分解禁止



火災や感電の原因になります。
修理は販売店にご相談ください。

本機上面や近くに液体容器や金属物を置かない



禁止



本機の内部に入り、火災や感電の原因になります。

本機の内部に金属物や燃えやすいものを入れない



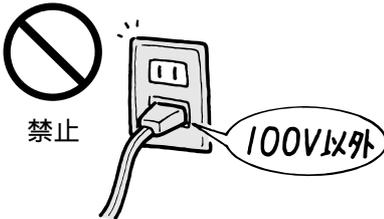
禁止



火災や感電の原因になります。

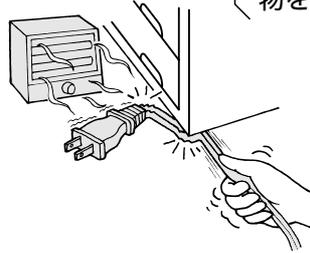
警告

コンセントや配線器具の
定格を超える使い方や、
交流 100 V 以外での使用
はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない



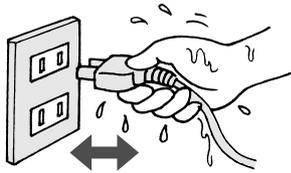
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの
抜き差しはしない

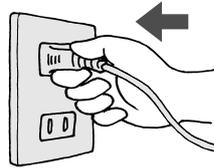


ぬれ手禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確
実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は
定期的にとる



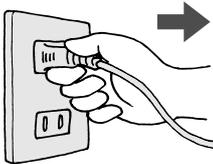
プラグにはこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

落としたりして破損したら、
電源スイッチを切り電源
プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

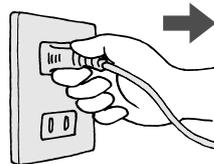


そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。修理は販売店にご相談ください。

液体、異物などが内部に入
ったら、電源スイッチ
を切り電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

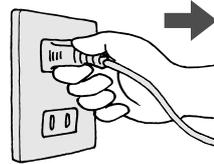


そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。修理は販売店にご相談ください。

煙が出たり変な臭いや音
がしたら、電源スイッチ
を切り電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く



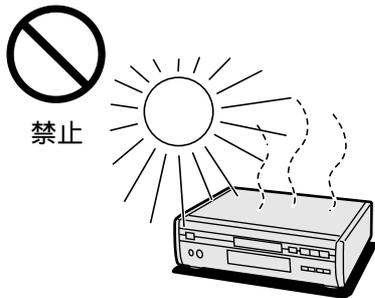
そのまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。修理は販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

直射日光の当たる場所、異常に温度が高くなる場所に置かない



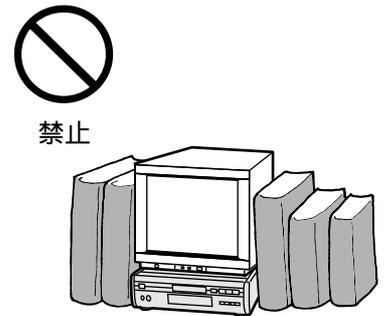
本機の内部温度が上昇し、火災の原因になります。

ほこりの多い場所、加湿器など湿気が多い場所に置かない



火災や感電の原因になります。

重いものを載せたり、風通しの悪い場所に置かない



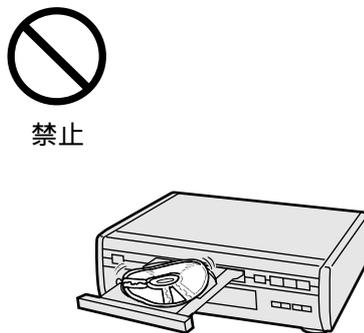
本機の内部温度が上昇し、火災の原因になります。

振動や衝撃のある場所、傾斜した場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

ひび割れや変形、修復したディスクは使用しない



本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

トレイに指を入れ、挟まれないように注意する



けがの原因になります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない



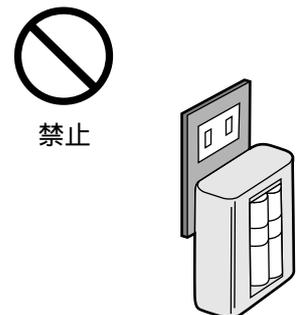
耳を刺激する大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因になります。

乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因になります。

使用上のお願い

本機の取扱いについて

設置するときは

他の機器にあまり近づけない。
(テレビ放送に映像の乱れや雑音などが発生したときは、本機の電源を切ってください)
棚の上など、高いところには置かない。
アンプの上など、高温になる機器の上には設置しない。

使用するとき

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする。
(キャビネットの変形や塗装がはげるおそれがあります)

移動や移送するとき

移動するときは、ディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す。
引っ越しなどで移送するときは、購入時のパッキングケースに入れる。
移動や移送するときは、落としたり、ぶつけない。

長期間使用しないときは

節電のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電源を切った状態でも、約1Wの電力を消費しています)

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。

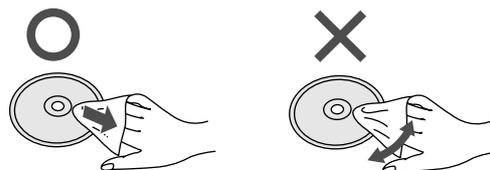
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの取扱いについて

取り扱うときは

ディスクの表面にふれたり、文字を書いたりしない。

ディスクに付いたほこりやごみ、指紋はやわらかい布でふく。必ず内から外へふく。



よごしたり、傷つけたりしない。
直射日光の当たるところや、温度・湿度の高いところに置かない。
落としたり、曲げたりしない。
CD用スタビライザーを使用しない。
保管するときは、専用のケースに入れる。

本機のお手入れについて

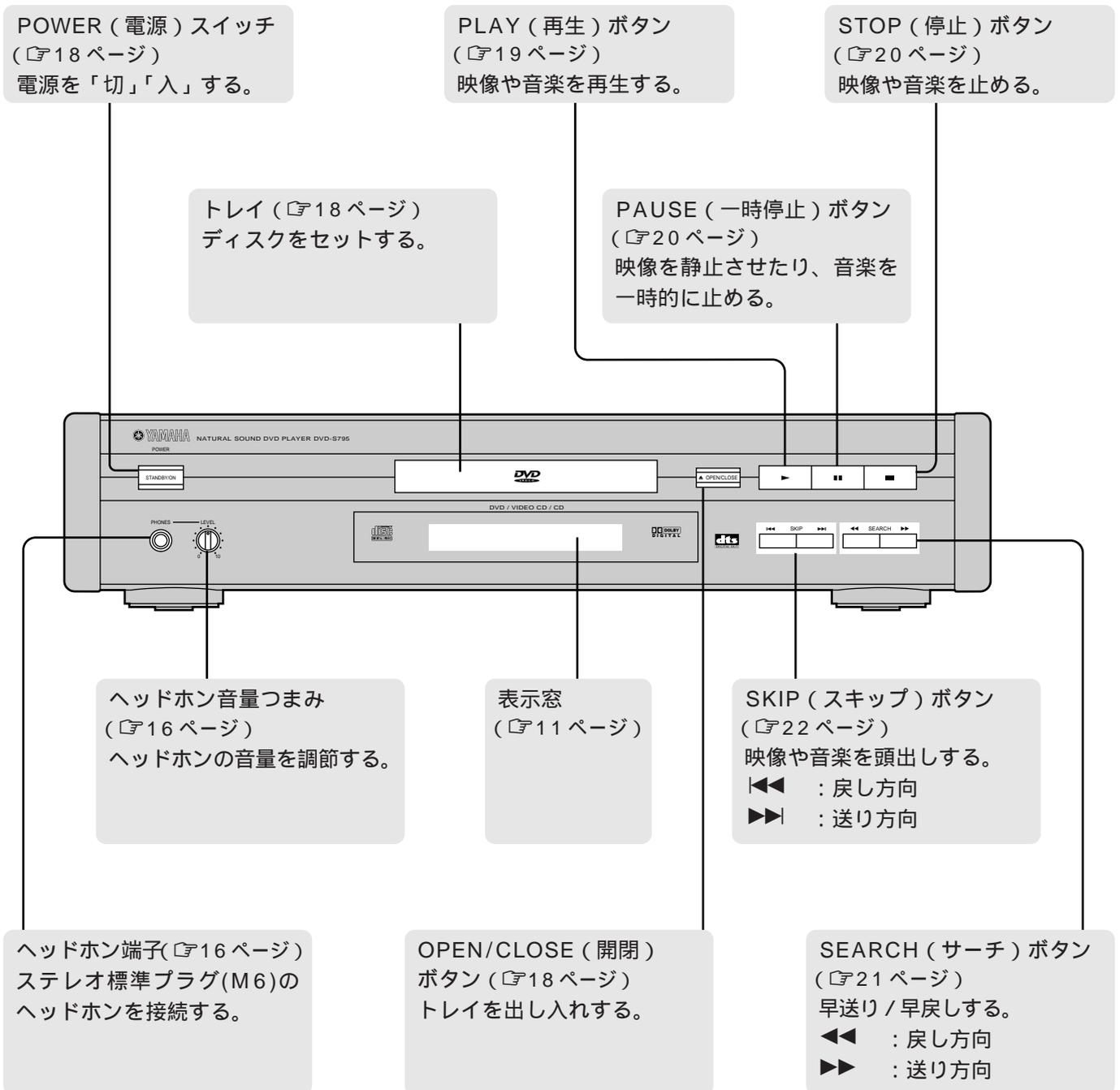
電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
よごれはやわらかい布で軽くふき取る。
[よごれがひどいときは、布を水でうすめた台所用洗剤(中性)にひたし、よくしぼってからふく]

ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。



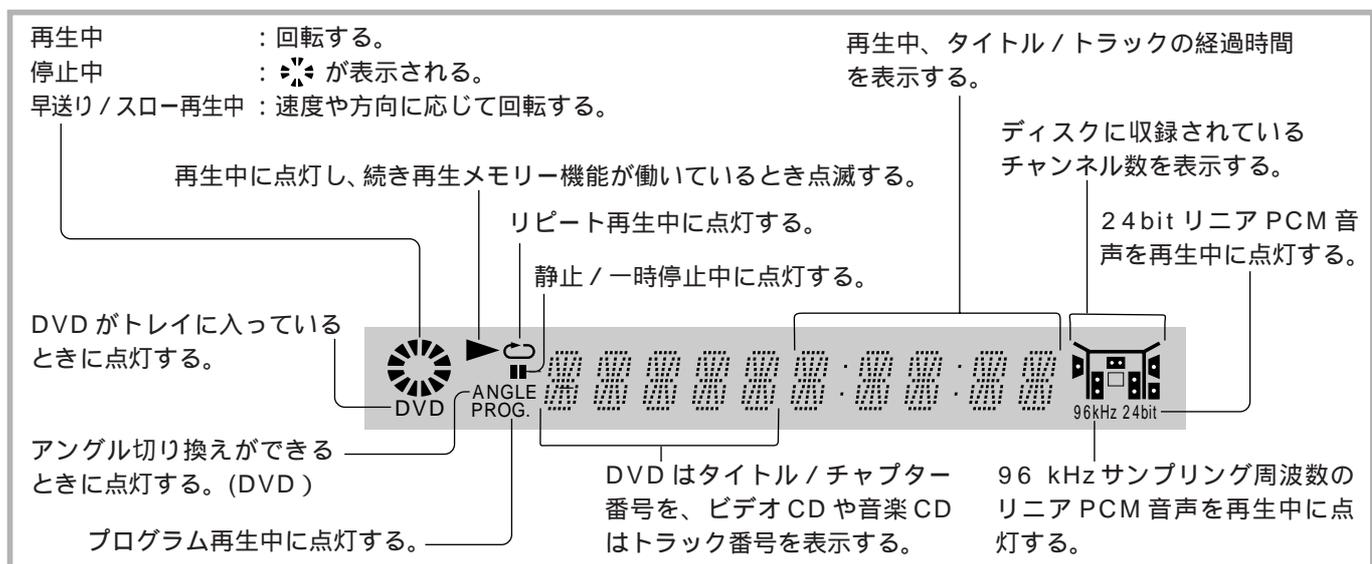
各部のなまえとはたらき

本体前面



本体表示窓

| このようなとき | このような表示が出ます | |
|--------------------------------|--------------|--|
| トレイを開けたとき | OPEN | |
| トレイを閉めようとしたとき | CLOSE | |
| ディスクが入っていないとき | NO DISC | |
| DVD を再生しているとき | c25 1:23:45 | CHAPTER 25 再生中 |
| インタラクティブな DVD を再生しているとき | PLAY | |
| カラオケ DVD を再生しているとき | T 13 0:17:45 | タイトル 13 再生中 |
| インタラクティブな DVD カラオケを再生しているとき | T 13 PLAY | タイトル 13 再生中 |
| ビデオ CD を再生しているとき | VCD 5 3:45 | トラック 5 再生中 |
| プレイバックコントロール付きビデオ CD を再生しているとき | VCD PBC | |
| 音楽 CD を再生しているとき | CD 5 3:45 | トラック 5 再生中 |
| トラック番号を予約したとき (プログラム再生) | CD 5 P: 3 | トラック 5 を 3 番目に予約したことを示す |
| 再生できないとき | NO PLAY | 初期設定「2 視聴制限」で再生を制限されている DVD (P.40 ページ) リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD PAL 方式で記録されたディスク |



各部のなまえとはたらき (つづき)

リモコン

POWER (電源) ボタン
(☞18 ページ)
電源を「切」「入」する。

STOP (停止) ボタン
(☞20 ページ)
映像や音楽を止める。

SKIP (スキップ) ボタン
(☞22 ページ)
映像や音楽を頭出しする。
◀◀ : 戻し方向
▶▶ : 送り方向

TITLE (タイトル) ボタン
(☞36 ページ)
ディスクに収録されているタイトルメニューを表示する。

ON SCREEN (画面表示) ボタン
(☞23 ページ)
GUI 画面を表示する。

SUBTITLE (字幕) ボタン
(☞35 ページ)
DVD の字幕言語を切り換える。

MARKER (マーカー) ボタン
(☞33 ページ)
再び見たい (聞きたい) 箇所を記憶する。

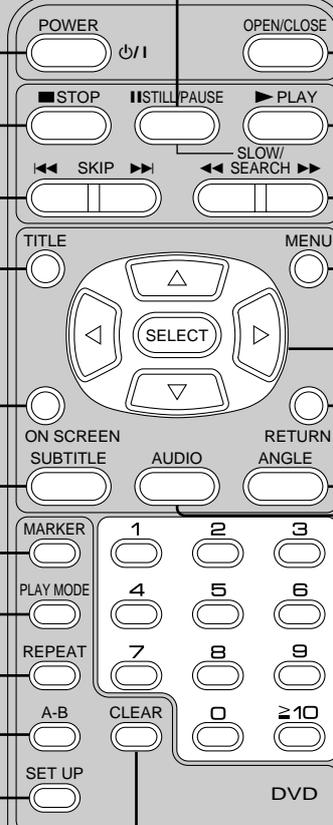
PLAY MODE (再生モード) ボタン
(☞30 ~ 32 ページ)
「通常再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える。

REPEAT (リピート) ボタン
(☞28 ページ)
繰り返し再生をする。

A-B (A-B リピート) ボタン
(☞29 ページ)
指定した 2 点間の繰り返し再生をする。

SET UP (初期設定) ボタン
(☞37 ページ)
初期設定画面を表示する。

STILL/PAUSE
(静止 / 一時停止) ボタン
(☞20 ページ)
映像を静止させたり、音楽を一時的に止める。



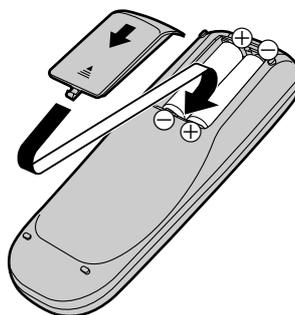
CLEAR (取消) ボタン
(☞23、30、33 ページ)
入力された数字を取り消す。

リモコンの準備

はじめに

準備

乾電池（付属）を入れる



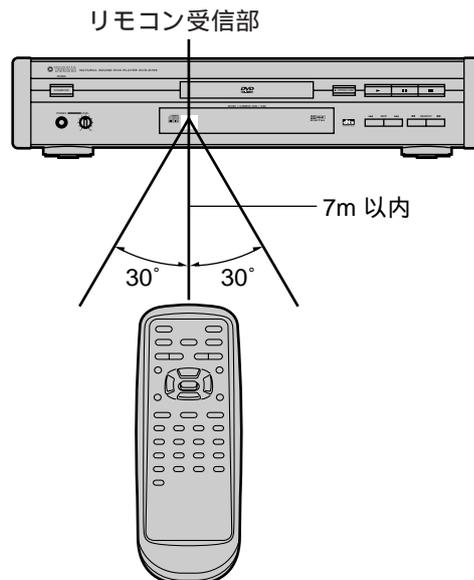
- 1 ふたを開ける
(の部分に指を入れ、矢印の方向にふたを押し、持ち上げる)
- 2 乾電池を入れる
(⊕ ⊖ を確かめて、正しく入れる)
- 3 ふたを閉める

乾電池の寿命は1年です

リモコンを本体の近くで操作しても働かないときは交換してください。

乾電池は単3形（R6P）を使ってください。

リモコンの使用範囲



お願い

ニッケルカドミウム

充電式電池（Ni-Cd）は使わない。
新旧・異種の電池は混用しない。
落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしない。
（部品がこわれたりして、故障の原因になります）
長期間使わないときは、乾電池を取り出しておく。
（液もれが起こり、故障の原因になります）
液もれが起こったときは、リモコン内部についた液をよくふき取ってから新しい電池を入れる。
液が体についたときは、水でよく洗い流す。
リモコンは使用範囲内でお使いください。
リモコン受信部に強い光を当てない。
リモコンとリモコン受信部の間に物を置かない。
他の機器のリモコンと同時に使わない。

— OPEN/CLOSE（開閉）ボタン
（[18](#) ページ）
トレイを出し入れする。

— PLAY（再生）ボタン
（[19](#) ページ）
映像や音楽を再生する。

— SLOW/SEARCH
（スロー/サーチ）ボタン
（[21](#) ページ）
スロー再生したり、早送り/早戻しする。
◀◀：戻し方向
▶▶：送り方向

— MENU（メニュー）ボタン
（[36](#) ページ）
ディスクに収録されているDVDメニューを表示する。

— カーソルボタン /
SELECT（選択）ボタン
（[19](#) ページ）
カーソルボタン（▲▼◀▶）を
押して選択し、SELECT（選択）
ボタンを押して決定する。

— RETURN（リターン）ボタン
（[19](#)、[23](#)、[38](#)、[40](#)～[50](#)
ページ）
メニューを一つ手前に戻す。

— ANGLE（アングル）ボタン
（[35](#) ページ）
アングル（角度）を切り換える。

— AUDIO（音声）ボタン
（[34](#) ページ）
DVDの場合、音声言語を切り換
えたり、カラオケソフトのボー
カルを切り換える。
ビデオCDの場合、「LR」「L」
「R」を切り換える。

— 番号ボタン（[19](#) ページ）
数字を入力する。
10以上を入力するとき、
10 ボタンを使用する。
例) 25
10 2 5

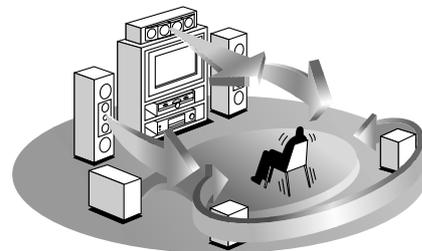
接続のしかた

接続する前に

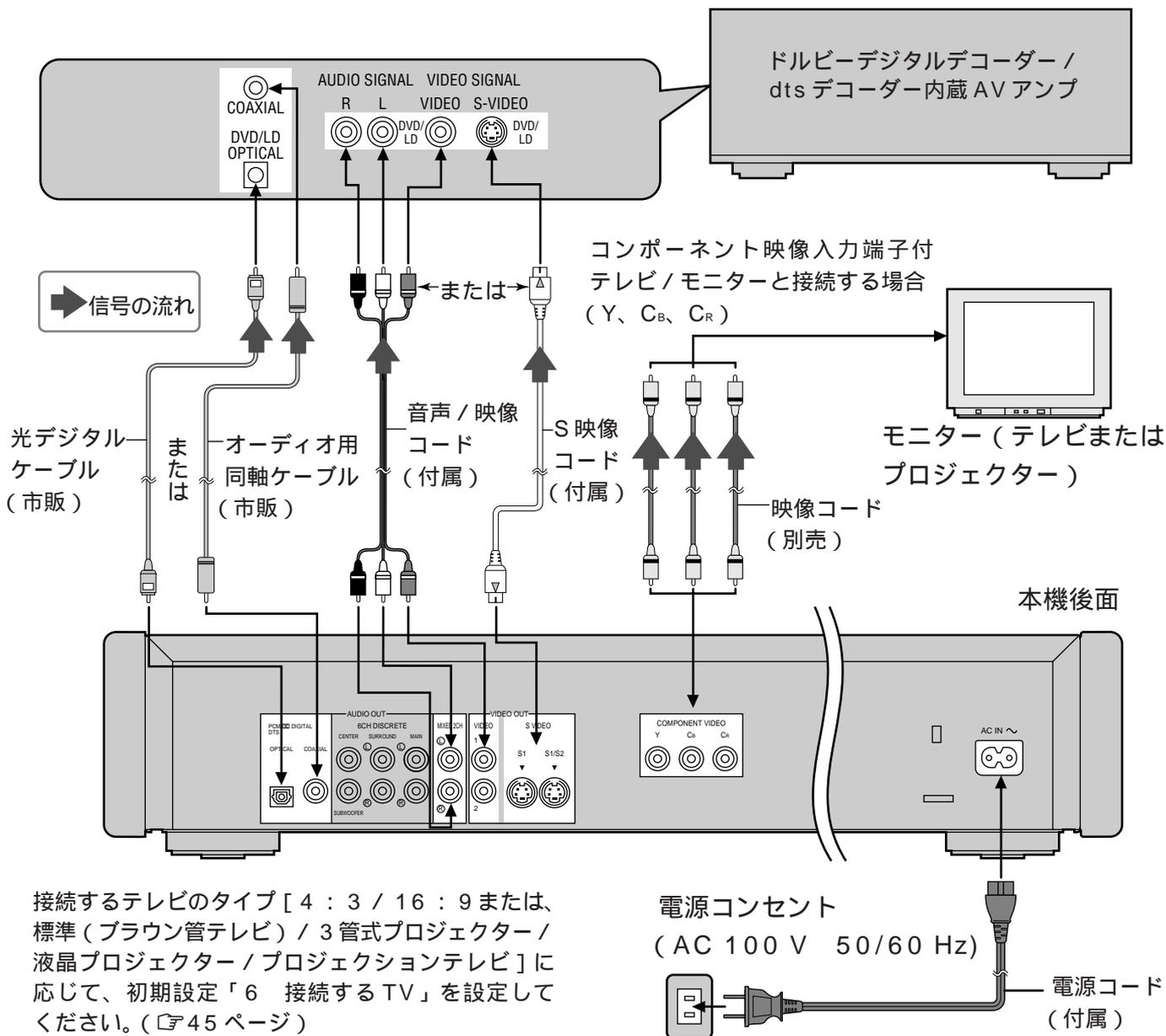
本機および接続する機器の電源を「切」にしてください。
接続する機器の説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルデコーダー/dts デコーダー内蔵 AV アンプと接続する

ドルビーデジタル/dts 5.1ch サラウンドで収録された DVD の再生時は、本機の光デジタル音声出力端子または、同軸デジタル音声出力端子からドルビーデジタル/dts のビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダー/dts デコーダー内蔵 AV アンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。

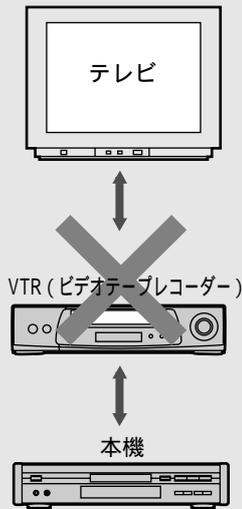


dts デコーダー内蔵 AV アンプと接続する場合は、初期設定「7 デジタル出力」の「dts」を「Bitstream」に設定してください。
(工場出荷時は「Off」に設定されています)
「Off」のままでは、dts のビットストリームが出力されません。



お願い

本機とテレビをコンポーネント映像出力端子を通じて接続すると、AV アンプのオンスクリーン情報がテレビ画面に表示されません。表示するためには、テレビ側で、AV アンプが接続されている音声/映像入力切換位置を選んでください。
本機の映像出力は、VTR(ビデオテープレコーダー)経由でテレビに接続しないでください。
再生時、画面がみだれることがあります。



ドルビーデジタルデコーダー / dts デコーダーを内蔵していないデジタル音声入力端子付きアンプと接続する場合は

初期設定「7 デジタル出力」を以下のように設定してください。(P.46 ページ)

「LPCM 96 kHz-48 kHz 変換」 「する」
「Dolby Digital」 「PCM」
「dts」 「Off」

正しく設定せずに DVD を再生すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

「Dolby」、「Pro Logic」及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

非公開機密著作物。

著作権 1992 - 1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

テレビの接続について

接続する AV アンプにモニター映像出力端子がある場合は、

- ①本機の VIDEO (S VIDEO) 端子と AV アンプの DVD/LD 映像入力端子を接続します。
- ②AV アンプのモニター映像出力端子とテレビを接続します。

この接続をしますと、複数の映像ソースを 1 台のテレビでモニターすることができます。

S 映像出力端子について

映像信号をカラー (C) 信号と輝度 (Y) 信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。S 映像入力端子付テレビには、S 映像コード (付属) で接続することをおすすめします。なお、本機は自動的にワイドテレビの画質モードを切り換える S1/S2 規格に対応しています。

S 映像出力端子 S1 : S1 のみに対応

S 映像出力端子 S1 / S2 : S1 と S2 に対応

(S1/S2 は、初期設定「9 エキスパート設定」の「S 端子出力 S1/S2 のモード」で切り換えてください (P.50 ページ))

コンポーネント映像出力端子 (Y、C_B、C_R) について輝度 (Y)、コンポーネント (C_B、C_R) 信号が、それぞれ独立して出力されるため、色をより忠実に再現します。

テレビやモニターによってコンポーネント映像入力端子の表示が異なります (Y、P_B、P_R または Y、B-Y、R-Y または Y、C_B、C_R など)。詳しくは、テレビに付属の説明書をよくお読みください。

ハイビジョン方式専用のコンポーネント映像入力には対応しておりません。

用語解説

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ (2ch) はもちろん、5.1ch のサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

リニア PCM 音声

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では、44.1 kHz/16 bit で記録されているのに対し、DVD では、48 kHz/16 bit ~ 96 kHz/24 bit で記録されていますので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

デジタル音声出力端子 (光)

デジタル音声出力端子 (光) は、電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるため、「外部からの電氣的な影響を受けない」「雑音の発生を防ぎ外部への影響も少ない」などの特長があります。

接続のしかた (つづき)

デジタル音声出力端子で音声を楽しむ

本機のデジタル音声出力端子（光/同軸）から出力される音声について

| 再生するディスク | 出力される音声 | |
|----------|--------------------------------------|--|
| | 音声記録方式 | |
| DVD | ドルビーデジタル | ドルビーデジタルのビットストリーム（1ch～5.1ch） PCM（48 kHz/16 bit）（2ch）（圧縮音声をPCMに変換し出力します） 初期設定「7 デジタル出力」で選択してください。 |
| | リニアPCM 48kHz/96kHz 16/20/24bit | リニアPCM（48 kHz/16 bit）（2ch） 音声出力なし 初期設定「7 デジタル出力」で選択してください。 |
| | dtc | dtcのビットストリーム（1ch～5.1ch） 音声出力なし 初期設定「7 デジタル出力」で選択してください。 |
| ビデオCD | MPEG1 | PCM（44.1 kHz）（圧縮音声をPCMに変換し出力します） |
| 音楽CD | リニアPCM | リニアPCM（44.1 kHz） |

デジタル音声出力端子（光）に光デジタルケーブル（市販）を接続するときは

防塵キャップを外し、形状を合わせて、奥までしっかりと差し込んでください。



お願い

防塵キャップを紛失しないよう保管し、端子を使わないときは、ほこりが付かないようキャップを付けてください。

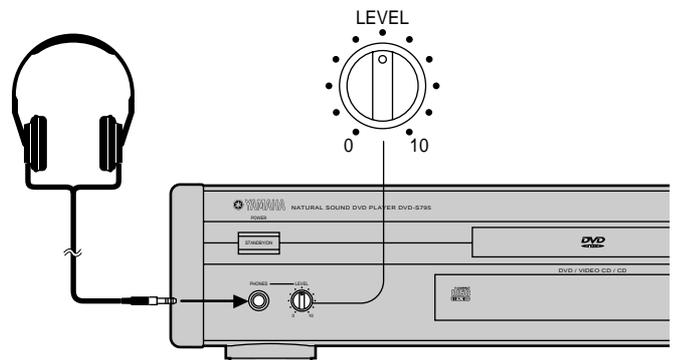
ヘッドホン（市販）を接続する

ステレオ標準プラグ（M6）の
ヘッドホン（市販）を接続する

接続するときは、いったん音量を下げてから音量を調節してください。

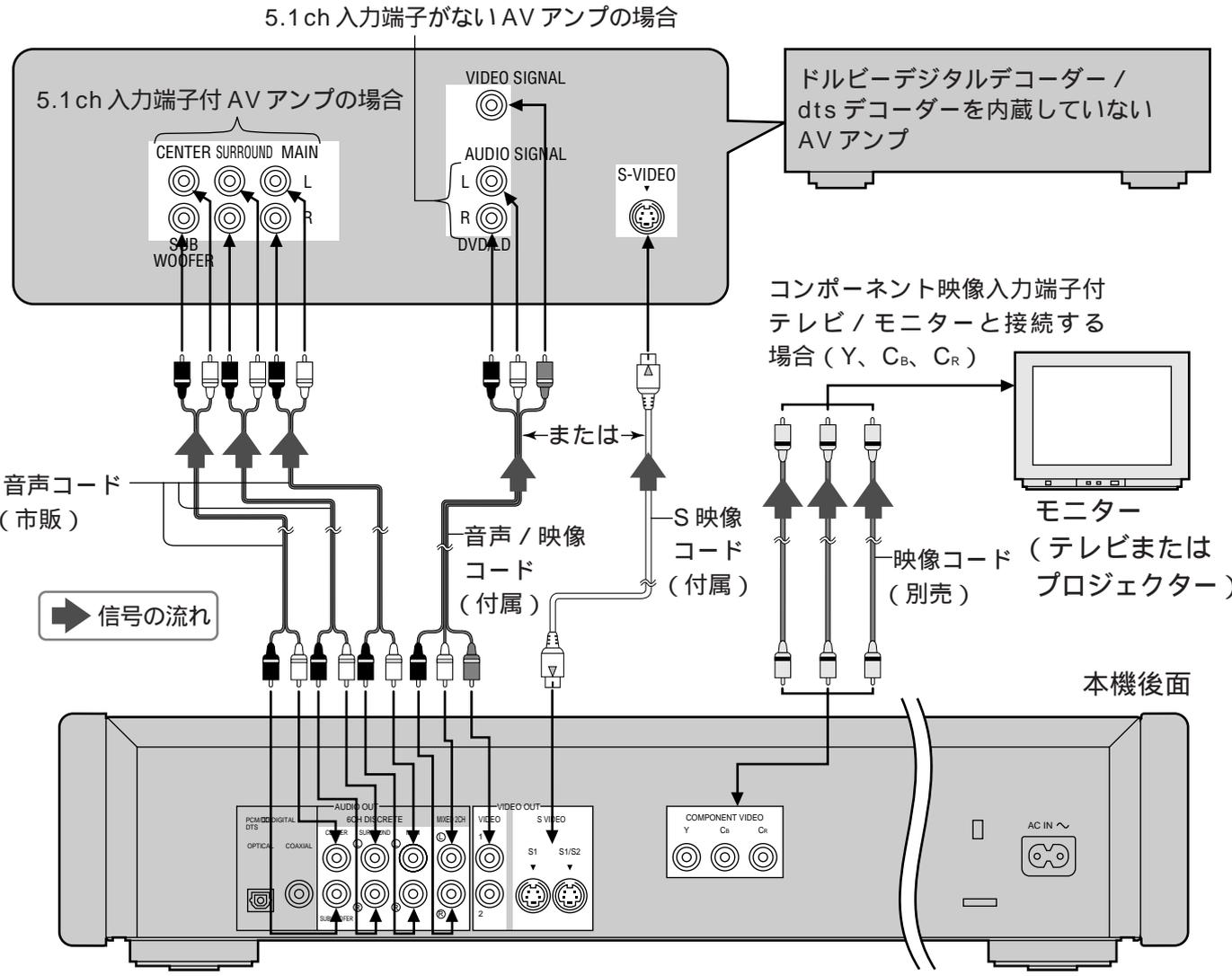
お願い

ヘッドホンで音声を楽しむときは、耳を刺激するような大きな音量で聞くことはさけてください。



ドルビーデジタルデコーダー / dts デコーダーを内蔵していない AV アンプと接続する

本機はドルビーデジタル/5.1ch サラウンドデコーダーを内蔵しています。市販のドルビーデジタルデコーダーがなくても、ドルビーデジタル/5.1ch サラウンドで収録された DVD を再生することができます。
5.1ch 入力端子付 AV アンプに接続することで、ドルビーデジタル/5.1ch サラウンドで収録された DVD を映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。



接続するテレビのタイプ [4 : 3 / 16 : 9 または、標準 (ブラウン管テレビ) / 3 管式プロジェクター / 液晶プロジェクター / プロジェクションテレビ] に応じて、初期設定「6 接続する TV」を設定してください。(P45 ページ)

5.1CH 入力端子付 AV アンプを接続したときはお使いになるスピーカーシステムによって初期設定の「8 スピーカー設定」を設定してください。(P48 ページ)

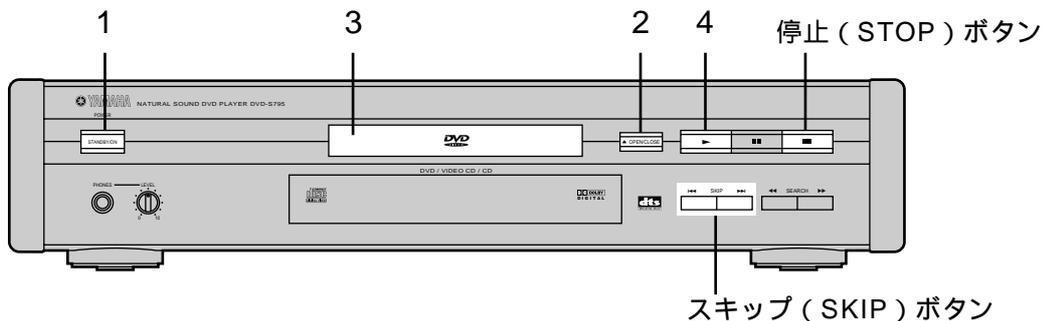
お知らせ

上記の接続をしたときは、dts で記録された音声は出力されません。dts 音声を楽しむには、DVD に対応した dts デコーダー内蔵 AV アンプが必要です。(P14 ページ)

再生してみよう

ご準備

テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする。
ステレオセットなどと接続しているときは、それらの電源を入れる。

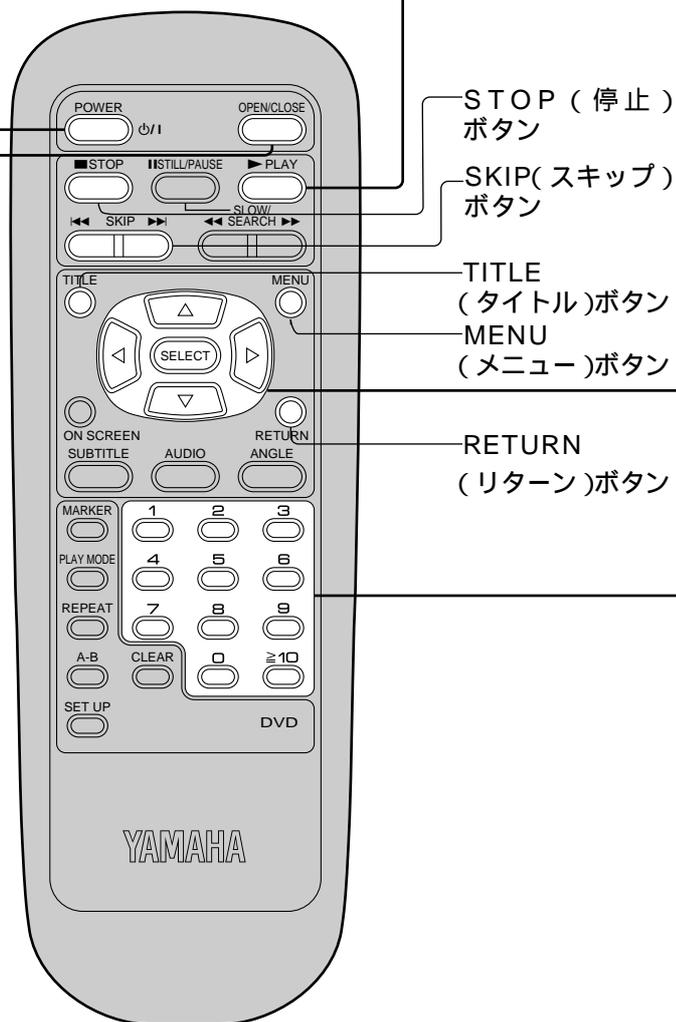
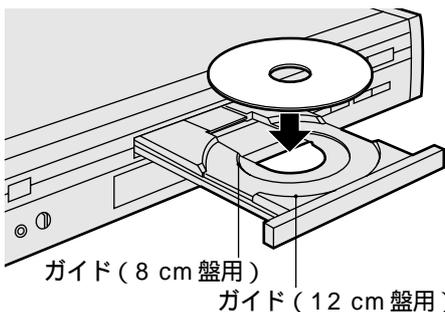


1 POWER (電源) ボタンを押す
(本機の電源が入ります)

2 OPEN/CLOSE (開閉) ボタンを押す
(トレイが出ます)

オープン

3 再生したい面のラベル印刷面を上にして、
トレイに
ディスクを置く



お願い

ディスクは、ガイドに合わせて置いてください。
トレイには、2枚以上のディスクをのせないでください。

テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。続けて再生しないときは、必ず STOP (停止) ボタンを押してください。

お知らせ

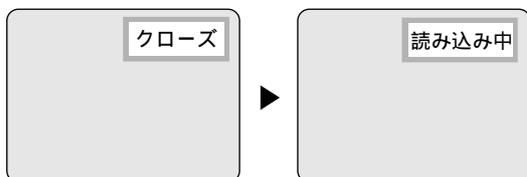
ボタン操作中、テレビ画面に ⊘ が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

用語解説

インタラクティブな DVD

例えば、複数のアングルやストーリーなどが収録された DVD ソフトです。

4 PLAY (再生) ボタンを押す (自動的にトレイが開まり、再生が始まります)



OPEN/CLOSE (開閉) ボタンを押してトレイを閉めたときは、PLAY (再生) ボタンを押してください。

メニュー画面が表示されたときはインタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCD (☞3 ページ) の多くのものは、メニュー画面が表示されます。

このような場合、手順 5、6 で見たい項目を選び、再生を始めてください。

例) インタラクティブなDVDのとき

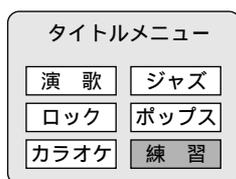


例) プレイバックコントロール付きビデオCDのとき



5 カーソルボタンまたは、番号ボタンで、見たい項目を選ぶ

例) DVD
“練習”を選んだとき



番号ボタンで選んだときは、手順 6 は不要です。ディスクによって異なりますが、SKIP (スキップ) ボタンを押すと、メニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。(ディスクのジャケットもご参照ください)
ビデオCDのときは、カーソルボタンが使えません。番号ボタンで見たい項目を選んでください。

6 SELECT (選択) ボタンを押す (見たい項目が決定され、再生が始まります)

例) DVD



例) ビデオCD



ディスクによって異なりますが、DVD 再生中はTITLE (タイトル) ボタン/MENU (メニュー) ボタン/RETURN (リターン) ボタンを、ビデオCD 再生中はRETURN (リターン) ボタンを押すと、メニュー画面に戻すことができます。

再生が終了したときは

続けて再生しないときは、節電のため、POWER (電源) スイッチを押して、電源を切ってください。電源を切らなくても、停止状態で約 30 分経過すると、自動的にスタンバイ状態になります。(オートパワーオフ)

すぐ使う

こんなこともできます - 映画をお楽しみの方へ -

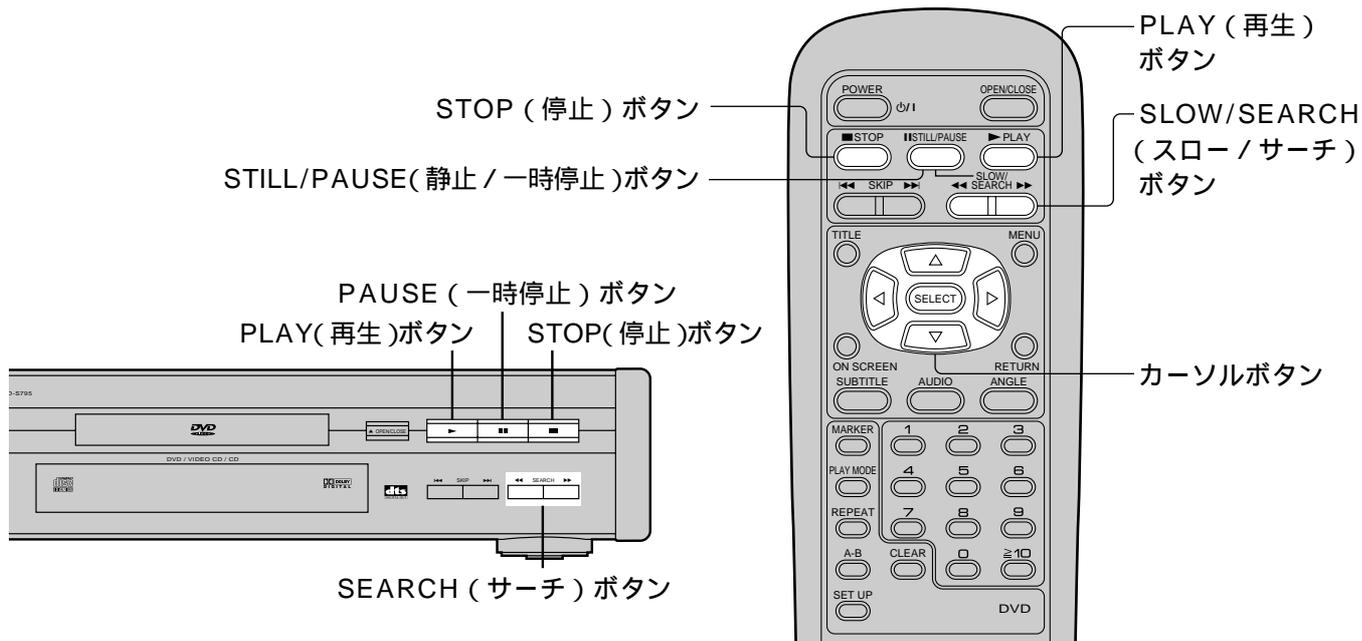
映画にふさわしい画質にする

GUI 画面を使って、映画ソフトに最適な画質 (映画ソフトのしっとり感、暗部のディテールを再現、ノイズ抑制効果) に切り換えることができます。(GUI 画面を使って、お好みの画質に設定することもできます。☞26 ページ「映画用画質調整モード」)

セリフのみ音量を上げる (シネマラウドネス機能)

GUI 画面 (本機の情報画面) を表示して、「シネマラウドネス」を「入」に設定すると、セリフのみ音量を上げることができます。(☞26 ページ)
(ドルビーデジタル 5.1ch で収録され、センターチャンネルに音声が入っているディスクのみ有効です)

再生してみよう (つづき)



再生を止める

再生中、リモコンまたは本体の
STOP (停止) ボタンを押す

静止 (一時停止) する

リモコンでの操作
再生中、
STILL/PAUSE (静止 / 一時停止) ボタンを押す

本体での操作
再生中、
PAUSE (一時停止) ボタンを押す

PLAY (再生) ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

続き再生メモリー機能について

本機は、再生中に STOP (停止) ボタンを押すと、止めた位置を記憶し、表示窓の ▶ マークが点滅します。(続き再生メモリー機能)

- ▶ マークが点滅している状態で PLAY (再生) ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
- ▶ マークが点滅している状態で、トレイを開けるか、もう一度、STOP (停止) ボタンを押すと、続き再生メモリー機能は解除されます。

続き再生メモリー機能は、再生中、表示窓に経過時間が表示されているタイトルにのみ働きます。続き再生メモリー機能は、電源を「切」「入」しても保持しています。

あらすじリプレイ機能について (DVDのみ)

▶ マークが点滅している状態で PLAY (再生) ボタンを押すと、以下のメッセージが表示されます。

再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります。

このメッセージが表示されている間に、もう一度 PLAY (再生) ボタンを押すと、タイトルの先頭から止めたところまでの各チャプターの冒頭が再生されるので、それまでのあらすじを確認できます。その後、止めたところから再生が始まります。

お知らせ

あらすじリプレイ機能が動かないDVDもあります。

コマ送り/コマ戻し再生する(DVD/ビデオCDのみ)

静止中、リモコンの

カーソルボタン (◀▶) を押す

◀ : 戻し方向

▶ : 送り方向

押すたびに、1コマずつ再生します。

押し続けると、連続してコマ送り/コマ戻し再生します。

PLAY(再生)ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

ビデオCDはコマ戻し再生できません。

リモコンのSTILL/PAUSE(静止/一時停止)ボタンや、本体のPAUSE(一時停止)ボタンを押しても、コマ送り再生できません。

コマ送り/コマ戻し再生での“フレームスチル”、“フィールドスチル”は、自動的に選ばれます。(P50ページ)

早送り/早戻しする

リモコンでの操作

再生中、

SLOW/SEARCH(スロー/サーチ)

ボタンを押す

◀◀ : 戻し方向

▶▶ : 送り方向

本体での操作

再生中、

SEARCH(サーチ)ボタンを押す

◀◀ : 戻し方向

▶▶ : 送り方向

押すたびに、早送り/早戻し速度(5段階)が速くなります。

PLAY(再生)ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

プレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中、SLOW/SEARCH(スロー/サーチ)ボタンやSEARCH(サーチ)ボタンを操作すると、メニュー画面に戻ることがあります。

早送り1速時は、音声聞こえます。(P50ページ)

スロー再生する(DVD/ビデオCDのみ)

リモコンでの操作

静止中、

SLOW/SEARCH(スロー/サーチ)

ボタンを押す

◀◀ : 戻し方向

▶▶ : 送り方向

本体での操作

静止中、

SEARCH(サーチ)ボタンを押す

◀◀ : 戻し方向

▶▶ : 送り方向

押すたびに、スロー速度(5段階)が速くなります。PLAY(再生)ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

ビデオCDは逆スロー再生できません。

用語解説

フレーム

ビデオやテレビの1コマ1コマの画像が“フレーム”です。

フレームスチル

テレビ画面上で2フィールドが交互に映し出されるので、画像はブレを生じますが、フィールドスチル画像とくらべると画質はよくなります。

フィールド

1フレームの半分の映像情報(ビデオ信号)が“フィールド”です。通常のテレビでは、2フィールドで1フレーム(1画面)を構成しています。

フィールドスチル

テレビ画面上で1フィールド(半分の映像情報)のみ映し出されるので、見た目が粗くなりますが、画像はブレを生じません。

再生してみよう (つづき)

頭出しする

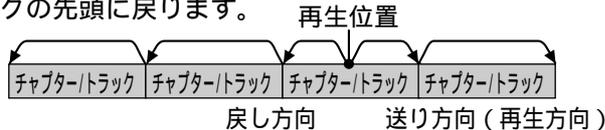
再生中、リモコンまたは本体の

SKIP (スキップ) ボタンを押す

◀◀ : 戻し方向

▶▶ : 送り方向

押した回数だけチャプター/トラックをとびこします。
戻し方向に1回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。



お知らせ

プレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中、SKIP (スキップ) ボタンを押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

プレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生機能を使わずに再生する

1

ビデオCDのメニュー画面表示中、**STOP (停止) ボタンを押す**
(表示窓の“PBC”(P.11ページ)が消えます)

2

番号ボタンで、**希望のトラック番号を入力する**
(再生が始まります)

トラック番号は、ディスクのジャケットなどを参照してください。
ディスクの先頭から再生するときは、番号ボタンの1を押してください。

メニュー再生に戻すときは

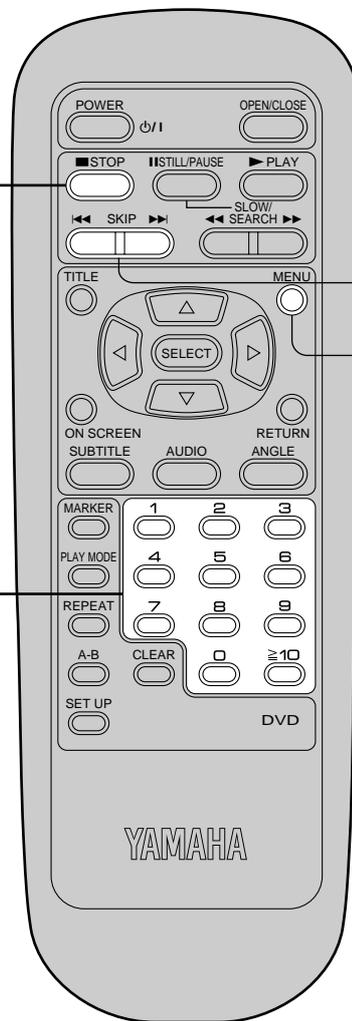
STOP (停止) ボタンを押して、再生を止め、MENU (メニュー) ボタンを押してください。
(表示窓の“PBC”が点灯し、テレビ画面にメニューが表示されます)

19ページの手順5、6を行ってください。

STOP (停止) ボタン



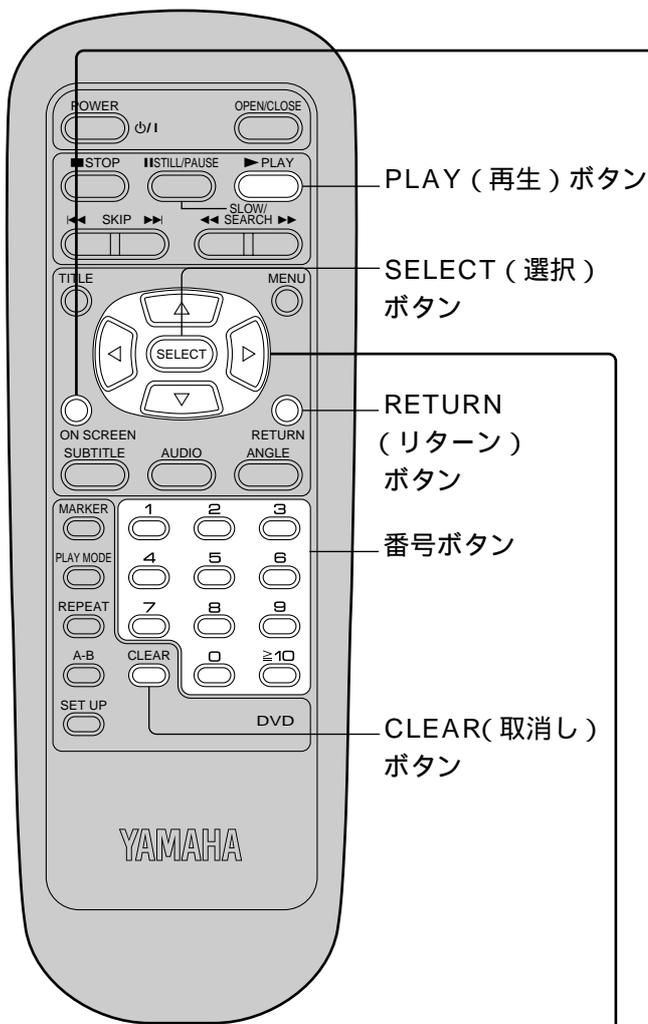
SKIP (スキップ) ボタン



SKIP
(スキップ) ボタン
MENU
(メニュー) ボタン

GUI画面を使って操作する DVD VCD CD

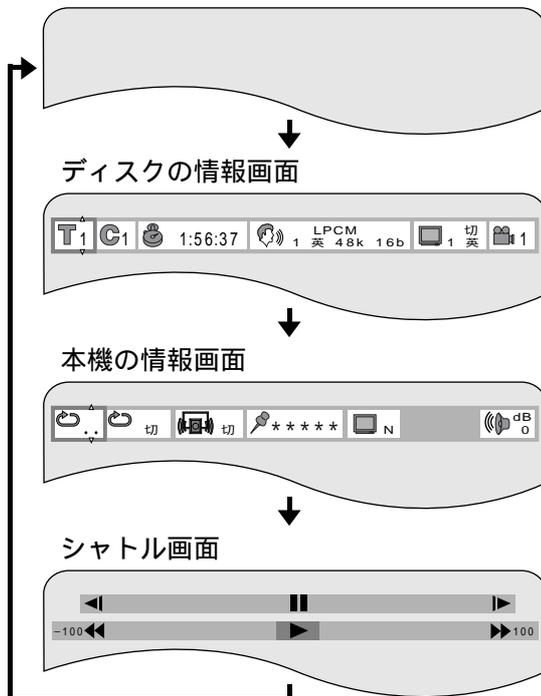
GUI (Graphical User Interface) 画面とは、リモコンの ON SCREEN (画面表示) ボタンを押すことでテレビ画面に表示される横長の画面のことで、別々の機能が割り当てられている複数のアイコンから構成されています。リモコンのカーソルボタン / SELECT (選択) ボタンの操作だけで、ディスクに関する情報 (タイトル / チャプター / 時間 / 音声 / 字幕 / アンクル) や本機に関する情報 (リピート / マーカー) を表示したり、その内容を変更することができます。



1 再生中または停止中、ON SCREEN (画面表示) ボタンを押す

(GUI画面が表示されます)
押すごとにテレビ画面の表示が切り換わります。表示される項目は、ディスクにより異なります。

例) DVD の場合
通常の再生画面



2 カーソルボタン (◀▶) で、変更する項目を選ぶ (選ばれた項目は黄色の枠で表示されます)

3 カーソルボタン (▲▼) で、内容を変更する

変更内容は、すぐに実行されるものもあれば、SELECT (選択) ボタンまたはPLAY (再生) ボタンを押すことにより実行されるものがあります。また、停止中のGUI画面からは、機能によって働かないものがあります。タイトルなど、番号が表示されているところは、番号ボタンで変更できます。番号ボタンで変更したときは、SELECT (選択) ボタンを押して実行してください。

お知らせ

GUI画面は、RETURN (リターン) ボタンまたは、CLEAR (取消し) ボタンでも消すことができます

DVDソフトの種類によっては、自動画像ズーム機能を内蔵したテレビで、その機能が有効になっているときに、GUI画面の一部が欠けたり、表示されなかったりすることがあります。

この場合、初期設定「4 オンスクリーン」でGUI画面の位置を変えてください。(P43ページ) GUI画面の色 (青 / 紫 / 緑) を変えることもできます。(P43ページ)

すぐ使う

もっと使う

GUI 画面を使って操作する (つづき)

テレビ画面に表示されるアイコンの説明 (ディスクの情報画面)

DVD の場合

タイトル番号 変更は、カーソルボタン (▲▼) または、番号ボタンで変更し、SELECT (選択) ボタンを押す。

チャプター番号 変更は、カーソルボタン (▲▼) または、番号ボタンで変更し、SELECT (選択) ボタンを押す。

経過時間 (時:分:秒) 変更は、番号ボタンで変更し、SELECT (選択) ボタンを押す。
例) 1時間56分37秒 「15637」と入力する。
(ディスクによっては、変更できない場合があります)



| | | | | | |
|-------|----------------------------------|---------------------|------------------|----------------------------------|--|
| 音声番号 | 変更は、カーソルボタン (▲▼) または、番号ボタンで変更する。 | | | | |
| 音声言語 | 日 | 日本語 | 蘭 | オランダ語 | |
| | 英 | 英語 | 中 | 中国語 | |
| | 仏 | フランス語 | 露 | ロシア語 | |
| | 独 | ドイツ語 | 韓 | 韓国語 | |
| | 伊 | イタリア語 | * | その他 | |
| | 西 | スペイン語 | | | |
| 音声属性 | LPCM | 96k | 16b | リニア PCM kはkHz、bはbit を示します。 | |
| | | または 48k | 20b 24b | | |
| | DD | 1ch ~ 5.1ch | ドルビーデジタル | | |
| | dtc | 1ch ~ 5.1ch | dtc | | |
| | Vocal | --- | DVD カラオケ (ソロ) | | |
| | | 入 | | | |
| Vocal | --- | DVD カラオケ (デュエット) | | | |
| | V1 + V2 | | | | |
| | V1 | | | | |
| | V2 | | | | |

アングル番号 変更は、カーソルボタン (▲▼) または、番号ボタンで変更する。

| | | | | |
|------|----------------------------------|-------|---|-------|
| 字幕番号 | 変更は、カーソルボタン (▲▼) または、番号ボタンで変更する。 | | | |
| 字幕言語 | 日 | 日本語 | 蘭 | オランダ語 |
| | 英 | 英語 | 中 | 中国語 |
| | 仏 | フランス語 | 露 | ロシア語 |
| | 独 | ドイツ語 | 韓 | 韓国語 |
| | 伊 | イタリア語 | * | その他 |
| | 西 | スペイン語 | | |
| 字幕切入 | 変更は、カーソルボタン (▲▼) で変更する。 | | | |
| | 切 | 字幕「切」 | | |
| | 入 | 字幕「入」 | | |

ビデオ CD/音楽 CD の場合

| | |
|--------|--|
| トラック番号 | 変更は、カーソルボタン (▲▼) または、番号ボタンで変更し、SELECT (選択) ボタンを押す。 |
|--------|--|

| | | |
|---|---|---------------|
| プレイバック コントロール (ビデオ CD のみ) (P.22 ページ) | 切 | メニュー再生していないとき |
| | 入 | メニュー再生しているとき |



| | | |
|----------------------|-------------------------|--|
| 音声モード (ビデオ CD のみ) | 変更は、カーソルボタン (▲▼) で変更する。 | |
| | LR | スピーカー (左) から左チャンネルの音声、 スピーカー (右) から右チャンネルの音声を出力 |
| | L | 左チャンネルの音声のみ出力 |
| | R | 右チャンネルの音声のみ出力 |

| | |
|-----------------|---|
| 経過時間 (分 : 秒) | 音楽 CD 再生中は、カーソルボタン (▲▼) を押すたびに表示が切り換わる。 経過時間 トラックの残り時間 ディスクの残り時間 |
|-----------------|---|

お知らせ

枠の ▲▼ マークは、カーソルボタンの ▲▼ で変更できることを示します。 

プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中は、トラック番号および経過時間を表示しません。GUI 画面を使って、プレイバックコントロールを「入」「切」することはできません。

(26 ページにつづく)

GUI 画面を使って操作する (つづき)

テレビ画面に表示されるアイコンの説明 (本機の情報画面)

A-B リpeat再生 (☞29 ページ) 再生中、SELECT (選択) ボタンを押すと、A 点が記憶され、もう一度押すと、B 点が記憶され、指定した 2 点間のリpeat再生が開始する。さらに、もう一度押すと、通常の再生に戻る。

| | | | |
|----------------------|----------------------------------|--------------|------------------------|
| リpeat再生 (☞28 ページ) | 再生中、カーソルボタン (▲▼) で、リpeat再生が開始する。 | | DVD ビデオ CD 音楽 CD |
| | 切 | 通常再生 | |
| | C | チャプターリpeat再生 | |
| | T | タイトルリpeat再生 | |
| | 切 | 通常再生 | |
| | T | トラックリpeat再生 | |
| A | ディスクリpeat再生 | | |

マーカー (☞33 ページ)
再生中、SELECT (選択) ボタンを押し、マークしたいところで、もう一度、SELECT (選択) ボタンを押し。(「*」部に数字が表示されます) マークしたところを呼び出すときは、カーソルボタン (◀▶) でマーク番号を選び、カーソルボタン (▲) を押し。マークしたところを取り消すときは、カーソルボタン (◀▶) でマーク番号を選び、CLEAR (取消し) ボタンを押し。



DVD の場合

| | | |
|---|--------------------|-----------------------|
| | シネマラウドネス (☞19 ページ) | 再生中、カーソルボタン (▲▼) で選ぶ。 |
| 切 | | 切 通常の音量 |
| | | 入 音量大 |

または

| | | |
|----------------------|-----|---------|
| ビデオ CD / 音楽 CD の場合 | PRG | プログラム再生 |
| 再生モード (☞30 ~ 32 ページ) | RND | ランダム再生 |
| | --- | 通常再生 |

| | |
|--------------------------|----------------------------------|
| マスターボリューム (本機の全体音声ボリューム) | カーソルボタン (▲▼) で選ぶ。 0 ~ - 127、- |
|--------------------------|----------------------------------|

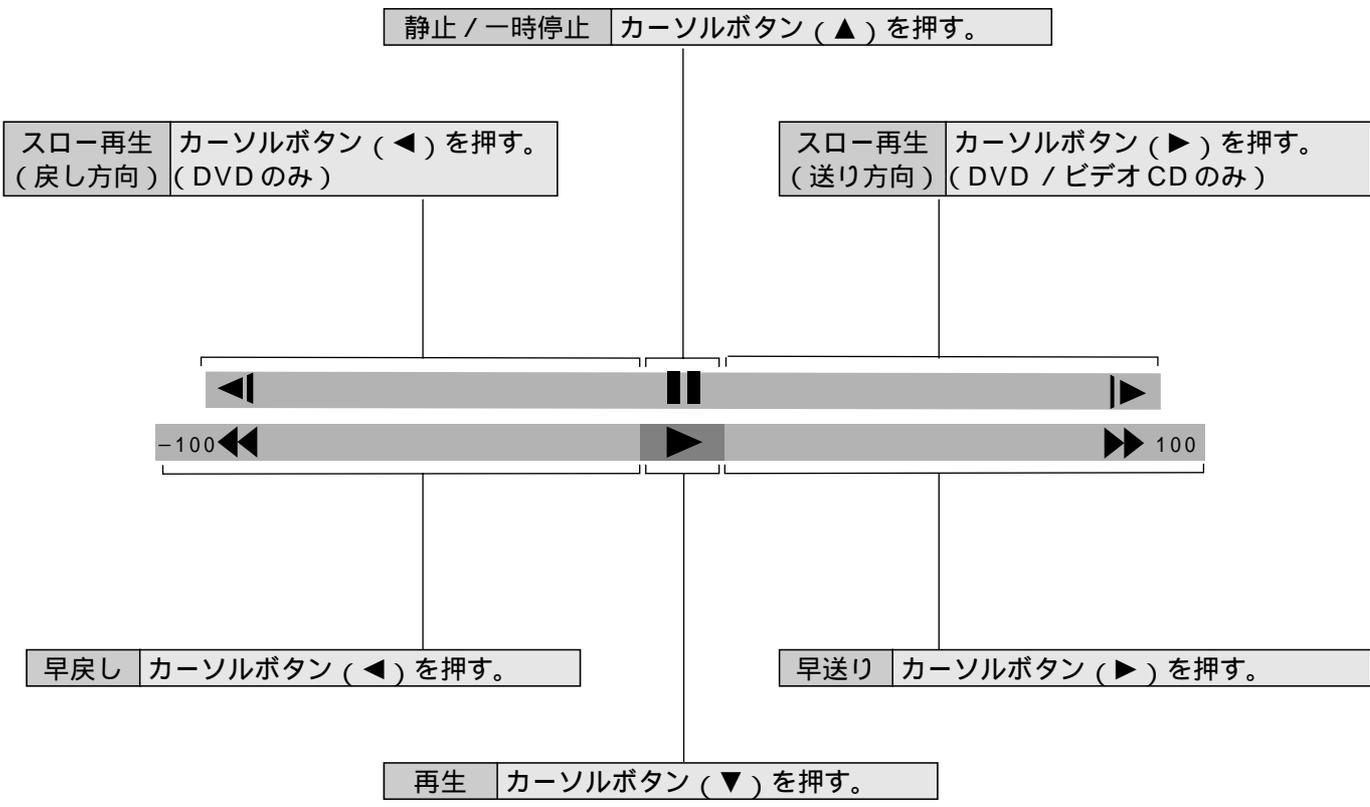
| | | | | |
|----------------------------|--------------------------------------|--|--|--|
| 映画用画質調整モード (DVD/ビデオ CD のみ) | カーソルボタン (▲▼) で選び、SELECT (選択) ボタンを押し。 | | | |
| | N | 通常画面 | | |
| | U | ユーザー画面 (お好みに応じて画質を調整できる) 「U」を選んで、SELECT (選択) ボタンを押しと、以下の GUI 画面が表示されます。 | | |
| | | | | |
| | C | シネマ画面 (映画に適した画質) | | |
| F | ファイン画面 (輪郭の強調されたクッキリした画質) | | | |
| S | ソフト画面 (ノイズの少ない柔らかな画質) | | | |

お知らせ

リpeat再生 / マーカーは、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中には働きません。
A-B リpeat再生は、インタラクティブな DVD には働きません。

GUI 画面を使って、再生モードを変えることはできません。
マスターボリュームは、DVD / ビデオ CD / 音楽 CD それぞれに対して独立して設定でき、記憶されます。

テレビ画面に表示されるアイコンの説明 (シャトル画面)



もっと使う

お知らせ

シャトル画面の端に表示される数字は、早送り / 早戻し時の最大速度を表わします。

- ・ DVD の場合 : 100 / -100
- ・ ビデオ CD の場合 : 40 / -40
- ・ 音楽 CD の場合 : 50 / -50

早送り / 早戻し / スロー再生は、カーソルボタンを押すごとに速度を変えられます。(5段階)

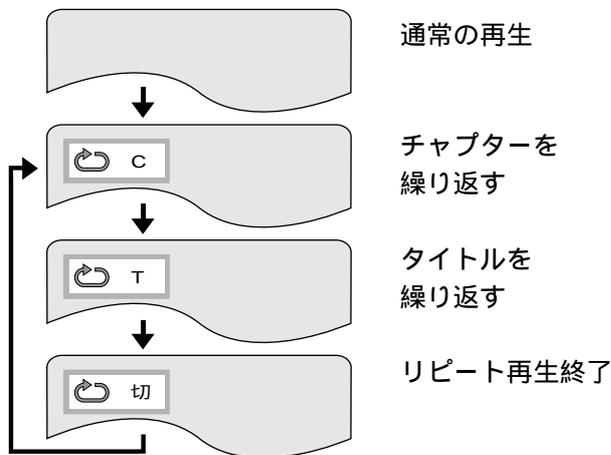
繰り返し再生する (リピート再生 / A-Bリピート再生)

お気に入りの映像や音声があれば、繰り返して再生することができます。

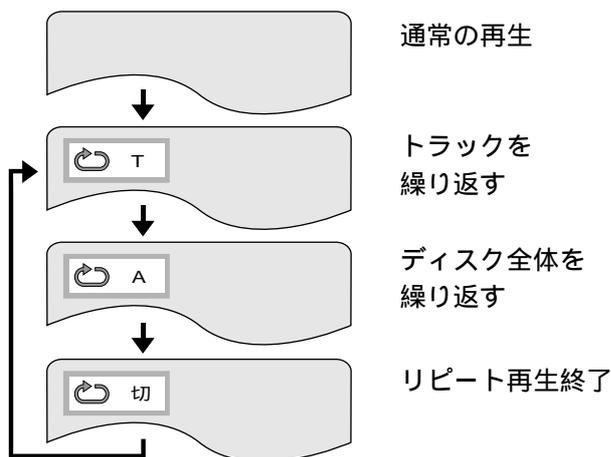
繰り返し再生する (リピート再生)

- 1** 再生中、
REPEAT (リピート)
ボタンを押す
(押すごとにテレビ画面の表示が切り換わり、それぞれの繰り返し再生を始めます)

DVD の場合



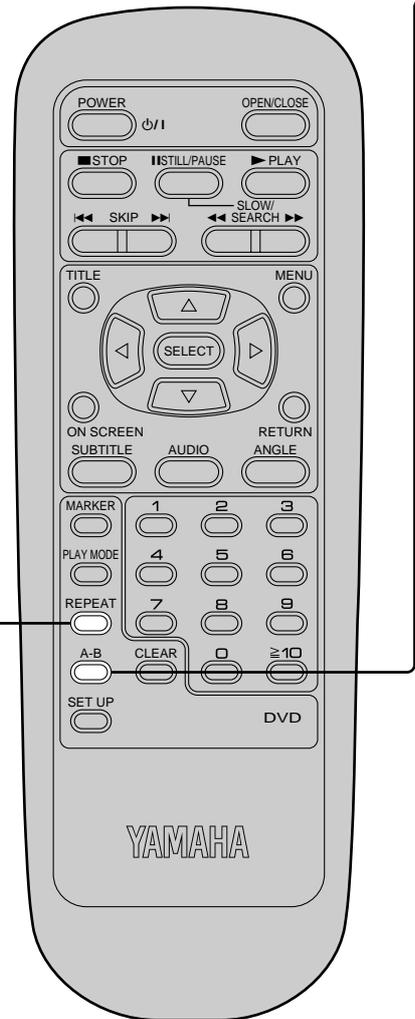
ビデオ CD や音楽 CD の場合



通常の再生に戻すときは
テレビ画面に “ ⏮️ 切 ” が表示されるまで、
REPEAT (リピート) ボタンを押します。

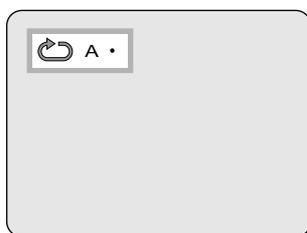
お知らせ

リピート再生が働かないDVDもあります。
リピート再生は、インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中には働きません。

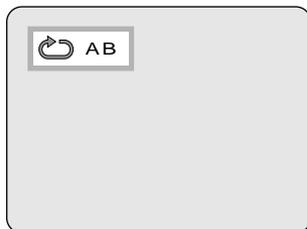


指定した2点間を繰り返し再生する
(A-Bリピート再生)

1 再生中、
A-B (A-Bリピート) ボタン
を押す
(開始場所 A が指定されます)



2 もう一度、
A-B (A-Bリピート) ボタン
を押す
(終了場所 B が指定され、AB 間の繰り返しが始まります)



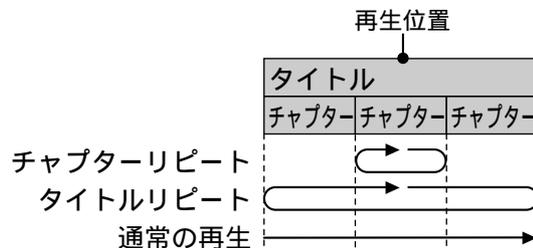
通常の再生に戻すときは
テレビ画面に“ . . .”が表示されるまで、A-B
(A-Bリピート) ボタンを押します。

お知らせ

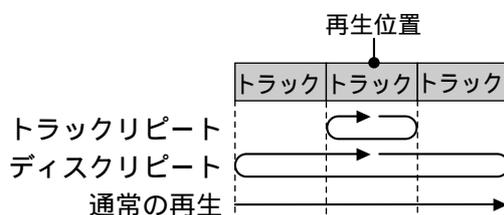
A-Bリピート再生は、インタラクティブなDVDには働きません。
A-Bリピート再生は、AB間の前後の字幕が表示されることがあります。
A-Bリピート再生は、同一タイトル(DVD)または、同一トラック(ビデオCD/音楽CD)でのみできます。
終了場所Bを指定する前にタイトル/トラックが終了した場合は、タイトル/トラックの終了点が終了場所Bとなります。

用語解説

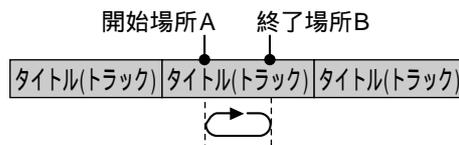
CHAPTER / TITLE リピート再生 (DVD)



トラック / ディスクリピート再生 (ビデオCD / 音楽CD)

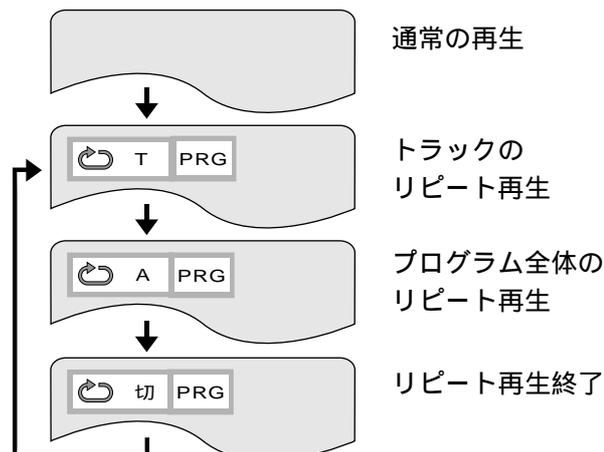


A-B リピート再生



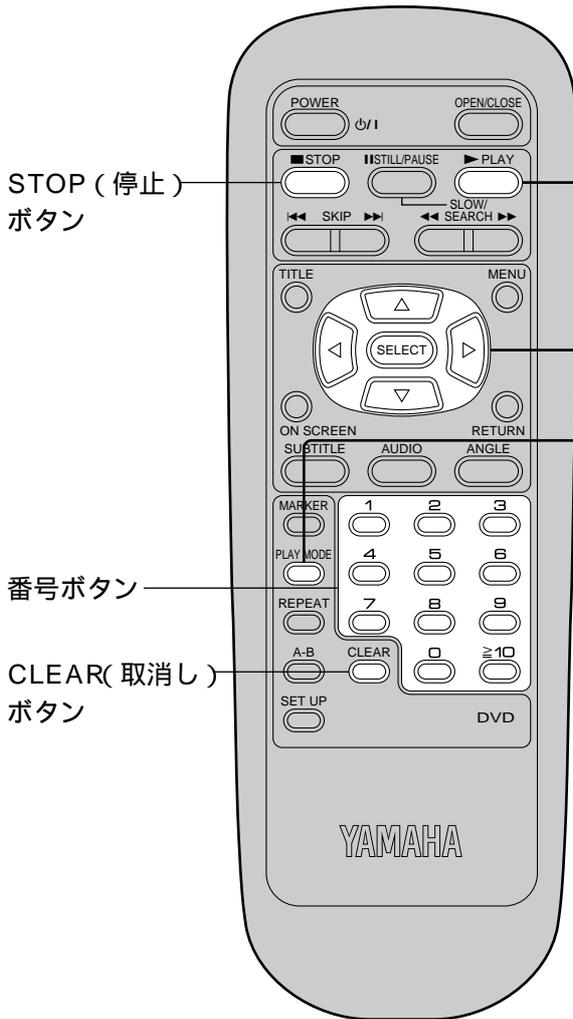
こんなこともできます

プログラム再生中にリピート再生をする
プログラム再生 (P. 30 ページ) 中に、
REPEAT (リピート) ボタンを押すと、演奏中のトラックのリピート再生が始まります。
もう一度、REPEAT (リピート) ボタンを押すと、プログラム全体のリピート再生が始まります。
テレビ画面に“ 切”が表示されるまで、
REPEAT (リピート) ボタンを押すと、プログラム再生に戻ります。



好きな順に再生する (プログラム再生)

ビデオ CD や音楽 CD は、トラック番号を予約して、好きな順に再生することができます。



1 停止中、
PLAY MODE (再生モード)
ボタンを 1 回押す
(プログラム選択画面が表示されます)

例) 17 曲収録され
ているディスク
の場合



プログラム選択画面を消すには、PLAY MODE (再生モード) ボタンを 2 回押します。

2 カーソルボタン (▲▼◀▶) で、
予約したい番号を選ぶ



3 SELECT (選択) ボタンを押す
(選んだ番号が記憶されます)



複数の番号を予約するには、手順 2、3 を繰り返します。
最大 18 曲まで予約できます。

4 PLAY (再生) ボタンを押す
(予約した順に再生が始まります)

予約したすべての再生が終了したときは
停止して、プログラム選択画面に戻ります。

通常の再生に戻すには

STOP (停止) ボタンを押してプログラム再生を止め、
PLAY MODE (再生モード) ボタンを 2 回押します。
そのあと、PLAY (再生) ボタンを押すと、ディスク
の先頭から通常の再生が始まります。(予約番号は保
持されます)

予約を 1 つずつ取り消すには

プログラム再生中は STOP (停止) ボタンを 2 回、
停止中は PLAY MODE (再生モード) ボタンを
1 回押して、プログラム選択画面を表示します。
CLEAR (取消し) ボタンを押すごとに、最後に予
約したものから順に取り消されます。
または、カーソルボタンで“ラストクリア”を選び、
SELECT (選択) ボタンを押します。

予約をすべて取り消すときは

電源を切るか、本機のトレイを開けると、すべて取
り消されます。
または、カーソルボタンで“オールクリア”を選び、
SELECT (選択) ボタンを押します。

こんなこともできます

本体表示窓を見ながら、トラック番号を
予約する

この機能は、以下のディスクに対して働きます。

音楽 CD

プレイバックコントロール付きビデオ CD のメ
ニュー再生を解除した場合

[メニュー画面表示中に STOP (停止) ボタン
を押してください]

プレイバックコントロール対応でないビデオ CD
(Ver. 1.1)

1. 停止中、PLAY MODE (再生モード) ボタン
を 1 回押す

例) 音楽 CD の場合



2. 番号ボタンを押す
(選んだ番号が記憶されます)

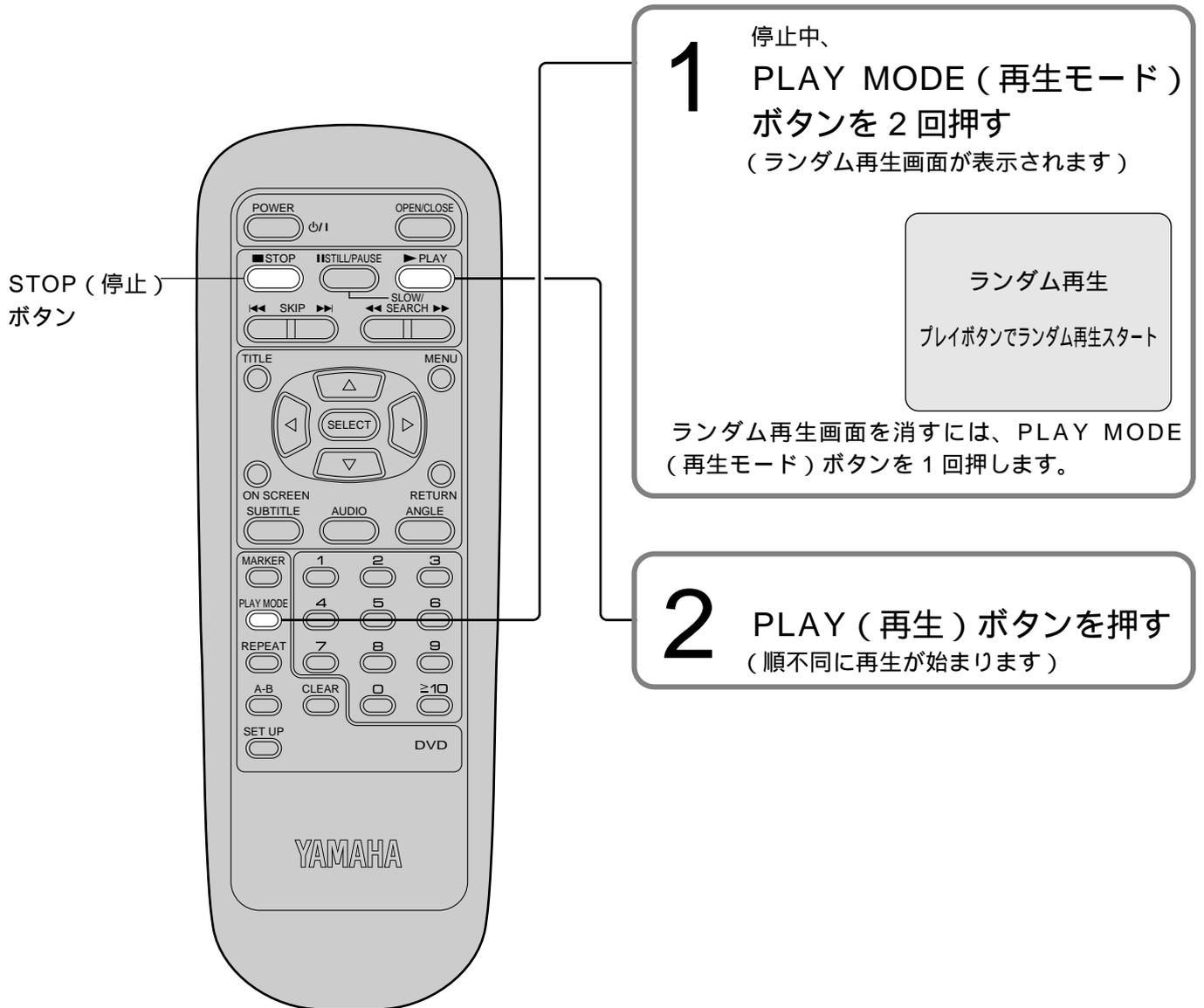


複数の番号を予約するには、手順 2 を繰り返
します。

3. PLAY (再生) ボタンを押す
(予約した順に再生が始まります)

順不同に再生する (ランダム再生) VCD CD

ビデオCD や音楽CD はトラック単位で、順不同 (ランダム) に再生します。



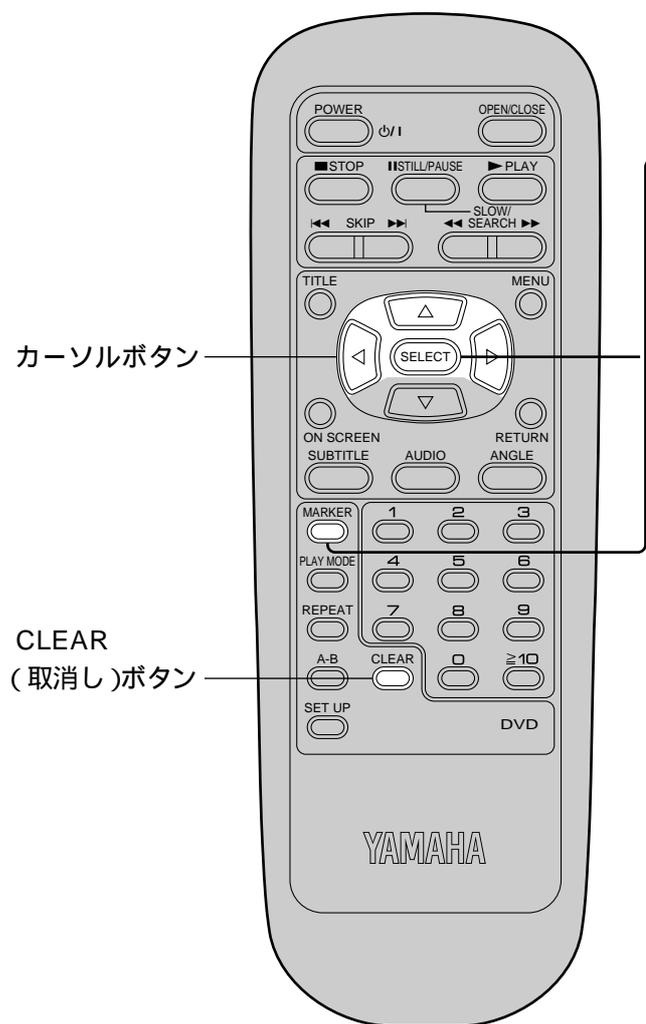
ランダム再生が終了したときは
停止して、ランダム再生画面に戻ります。

通常の再生に戻すときは
STOP (停止) ボタンを押してランダム再生を止め、
PLAY MODE (再生モード) ボタンを1回押します。
その後、PLAY (再生) ボタンを押すと、ディスクの先頭から通常の再生が始まります。

再び見たい (聞きたい) 箇所を記憶する (マーカー)

DVD VCD CD

再び見たい (聞きたい) 箇所にマークを付けておくと、いつでもそこから再生を始められます。



マークを付ける

1 再生中、MARKER(マーカー)ボタンを押す

(マーカー画面が表示されます)

マークされていないときは、「*」が表示されます。



2 記憶したい箇所で、SELECT(選択)ボタンを押す

(数字が表示されます)

最大5カ所までマークできます。数字が表示されている箇所で、SELECT(選択)ボタンを押すと、前回マークした箇所が消え、新しくマークされます。MARKER(マーカー)ボタンを押すと、表示が消えます。



お知らせ

マーカーを付けた箇所によっては、字幕が表示されないことがあります。

電源を切るか、本機のトレイを開けるまで、マーク番号は保持されています。

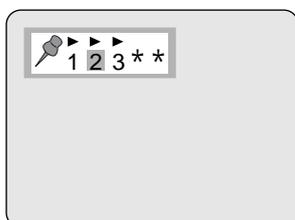
マーカー機能は、インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中には働きません。

もっと使う

マークを付けた箇所を呼び出す / 取り消す

1 カーソルボタン(◀▶)で、マーク番号を選ぶ

再生中、マーカー画面が表示されていない場合は、MARKER(マーカー)ボタンを押して、マーカー画面を表示させてください。

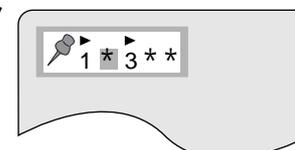


選んだマーク番号を再生するときはカーソルボタン(▲)を押します。

(選んだマーク箇所まで戻り、再生が始まります)

選んだマーク番号を取り消すときはCLEAR(取消し)ボタンを押します。

(選んだマーク箇所が取り消されます)



マルチ機能を使う

音声言語を切り換える(マルチ音声機能)

複数の音声言語が記録されている DVD は、再生中、音声言語を切り換えることができます。

1 再生中、 AUDIO(音声)ボタンを押す (現在再生中の音声番号が表示されます)

音声記録されていないときは、音声番号が“-”で表示されます。

LPCM
1 日 48k 16b



2 カーソルボタン(▲▼)で、 お好みの言語にする

LPCM
2 英 48k 16b

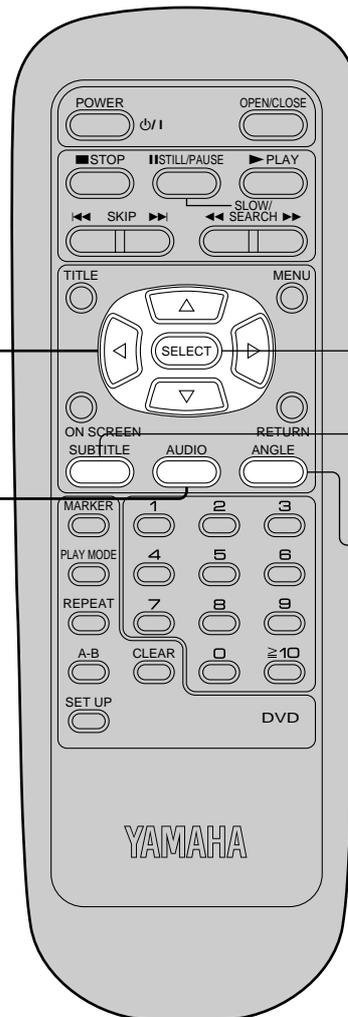


AUDIO(音声)ボタンまたは、SELECT(選択)ボタンを押すと、表示が消えます。

お知らせ

カーソルボタンを数回押しても、希望の言語にならないときは、その言語はディスクに記録されていません。

電源を切/入したときまたは、本機のトレイを開いたときは、初期設定(☞38ページ)で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。



SELECT(選択)ボタン

SUBTITLE(字幕)ボタン

ANGLE(アングル)ボタン

こんなこともできます

カラオケソフトのボーカルを「切」「入」する

カラオケソフト再生中に AUDIO(音声)ボタンを押します。

もう一度、AUDIO(音声)ボタンを押すと、表示が消えます。

音楽CDは、ボーカルの「切」「入」ができません。

DVDカラオケ(ソロ)の場合

カーソルボタン(◀▶)で、ボーカルの「---(切)」「入」が切り換えできます。

DVDカラオケ(デュエット)の場合

カーソルボタン(◀▶)で、ボーカルの「---(切)」「1+2(入)」「V1(入)」「V2(入)」が切り換えできます。

ビデオCDの場合

カーソルボタン(▲▼)で、「LR」「L」「R」が切り換えできます。

DVD VCD

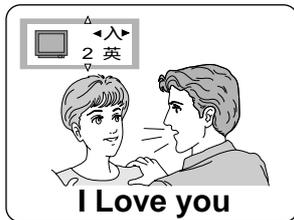
字幕言語を切り換える (マルチ字幕機能)

複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中、字幕言語を切り換えることができます。

- 1** 再生中、
SUBTITLE(字幕)ボタンを押す
(現在再生中の字幕番号が表示されます)
字幕が記録されていないときは、字幕番号が
“-”で表示されます。



- 2** カーソルボタン(▲▼)で、
お好みの言語にする



SUBTITLE(字幕)ボタンまたは、SELECT
(選択)ボタンを押すと、表示が消えます。

お知らせ

カーソルボタンを数回押しても、希望の言語にならないときは、その言語はディスクに記録されていません。

電源を切/入したときまたは、本機のトレイを開いたときは、初期設定(☞38ページ)で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。字幕言語を変更しても、その言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

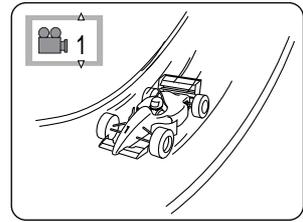
こんなこともできます

字幕言語を「切」「入」する
カーソルボタン(◀▶)で、字幕の「切」「入」
が切り換えできます。

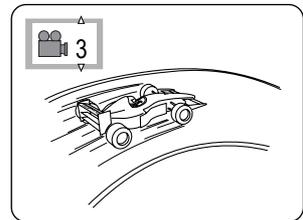
アングル(角度)を切り換える (マルチアングル機能)

複数のアングルが記録されているDVDは、再生中、アングルを切り換えることができます。

- 1** 再生中、
ANGLE(アングル)ボタン
を押す
(現在再生中のアングル番号が表示されます)



- 2** カーソルボタン(▲▼)で、
お好みのアングルにする



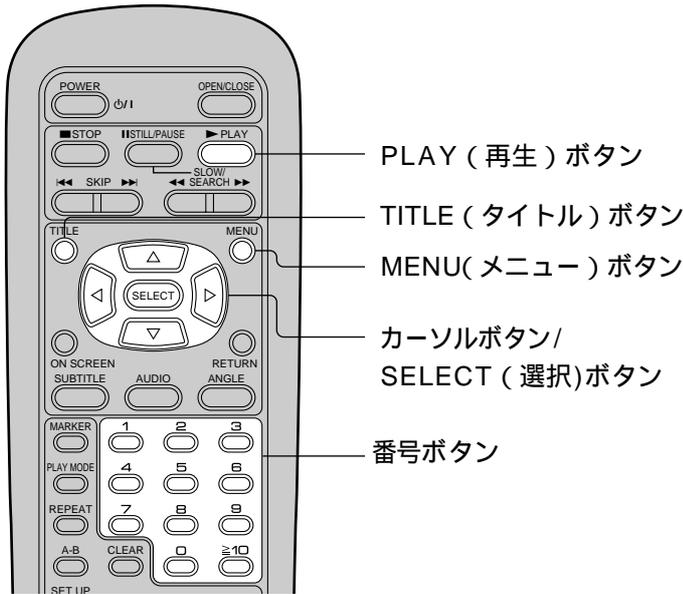
ANGLE(アングル)ボタンまたは、SELECT
(選択)ボタンを押すと、表示が消えます。

お知らせ

マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されているタイトルで働きます。

複数のアングルが記録されている場面では、本体表示窓に“ANGLE”が点灯し、アングルを切り換えることができます。

“ANGLE”が点灯していない場合でも、あらかじめアングル番号が指定できるものもあります。この場合、“ANGLE”が点灯した時点で指定のアングル番号に切り換わります。



- PLAY (再生) ボタン
- TITLE (タイトル) ボタン
- MENU (メニュー) ボタン
- カーソルボタン/
SELECT (選択) ボタン
- 番号ボタン

タイトルメニューを使う

複数のタイトルが入っている DVD は、タイトルメニューからお好みのタイトルを選び再生することができます。

- 再生中、
TITLE (タイトル) ボタンを押す
(タイトルメニューが表示されます)
例)

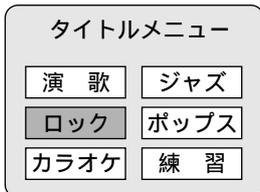
もう一度押すと、タイトルメニューを呼び出した場面まで戻り、そこから再生されます。



- カーソルボタンまたは、番号ボタンで、
お好みのタイトルを選ぶ

番号ボタンで選んだとき、手順 3 は不要です。

例) “ロック” を選んだとき



- SELECT (選択) ボタン**を押す
(再生が始まります)

PLAY (再生) ボタンを押しても、再生が始まります。

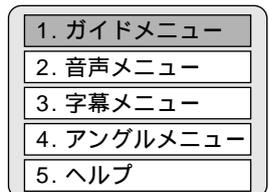
DVD メニューを使う

DVD によっては、DVD メニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。例えば、複雑な内容で編集された DVD では、ガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録された DVD では、音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。

これらのメニューを DVD メニューと呼びます。本書では、DVD メニューの一般的な操作方法を紹介します。

- 再生中、
MENU (メニュー) ボタンを押す
(DVD メニューが表示されます)
例)

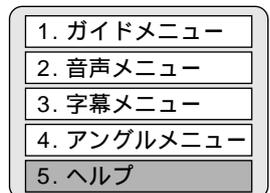
もう一度押すと、DVD メニューを呼び出した場面まで戻り、そこから再生されます。



- カーソルボタンまたは、番号ボタンで、
項目を選ぶ

番号ボタンで選んだとき、手順 3 は不要です。

例) “ヘルプ” を選んだとき



- SELECT (選択) ボタン**を押す
(選んだ項目が決定されます)

次々とメニューを表示するときは、2、3 の操作を繰り返します。

初期設定を変更する

工場出荷時にあらかじめ設定されている初期設定を変更することができます。

例えば、英語の音声でDVDを再生したいときは、次の操作で「1 ディスク言語」を変更してください。

(初期設定は、電源を切っても、次に変更するまで保持されます)

1 停止中、 SET UP (初期設定) ボタン を押す (初期設定画面が表示されます)



1 ディスク言語

ディスクに準備されている各種言語が設定できます。(設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語が選ばれます)

2 視聴制限

お子様などに見せたくない成人向けDVDソフトの再生が制限できます。

ただし、成人向けDVDでも、ディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合、視聴制限できません。なお、すべてのDVDソフトの再生を禁止することはできません。

3 画面メニュー言語

初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される“再生”などの言語が設定できます。

4 オンスクリーン

“再生”などの表示を、テレビ画面に表示させるか、させないかの設定ができます。

また、“再生”などの表示およびGUI画面の色と位置を設定できます。

5 FLディマー

本体表示窓の明るさが設定できます。

6 接続するTV

接続したテレビの画面サイズ(4:3または16:9)とテレビの種類に応じて設定します。

7 デジタル出力

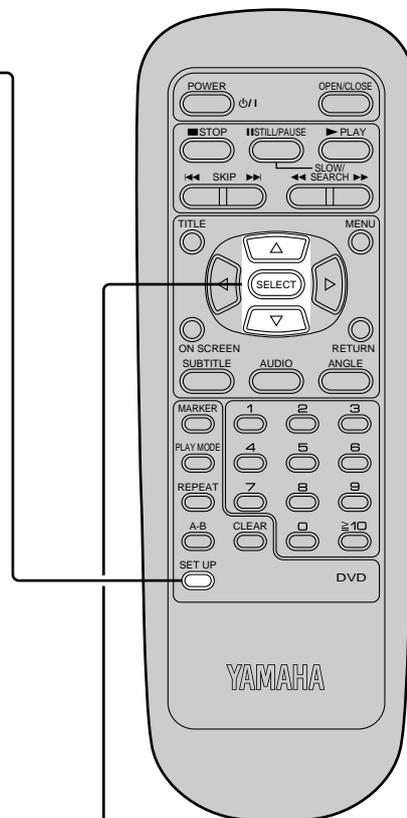
デジタル音声出力端子から出力される音声の設定ができます。

8 スピーカー設定

内蔵の5.1chサラウンドデコーダーの各種設定ができます。

9 エキスパート設定

音声のダイナミックレンジ圧縮など、特殊な設定ができます。



2 カーソルボタン(▲▼)で、 設定する項目を選び、 SELECT (選択) ボタンを 押す

- 「1 ディスク言語」を選択 ☞ 38 ページ
- 「2 視聴制限」を選択 ☞ 40 ページ
- 「3 画面メニュー言語」を選択 ☞ 42 ページ
- 「4 オンスクリーン」を選択 ☞ 43 ページ
- 「5 FLディマー」を選択 ☞ 44 ページ
- 「6 接続するTV」を選択 ☞ 45 ページ
- 「7 デジタル出力」を選択 ☞ 46 ページ
- 「8 スピーカー設定」を選択 ☞ 48 ページ
- 「9 エキスパート設定」を選択 ☞ 50 ページ

お願い

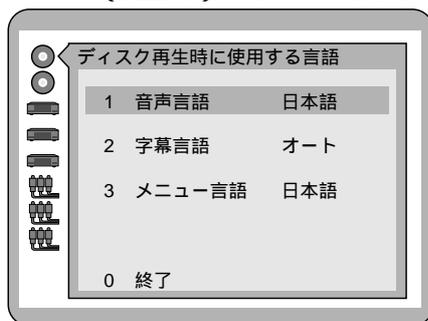
「2 視聴制限」で、レベル0の「すべて不可」が選ばれているときは、DVDディスクがセットされている限り、初期設定の「2 視聴制限」を含むすべての項目が変更できません。この場合は、ディスクを取り出してから、ロックを解除してください。

初期設定を変更する (つづき)

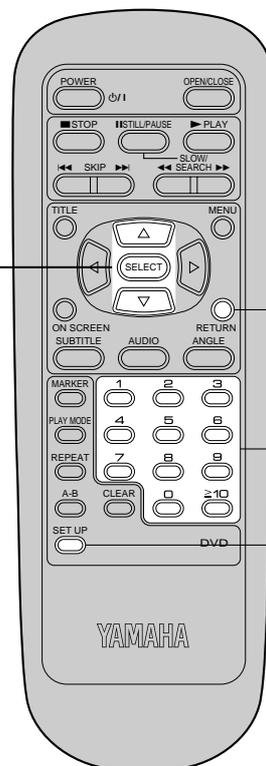
「1 ディスク言語」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

3 カーソルボタン (▲▼) で、 選択する項目を選び、 SELECT (選択) ボタンを押す



- 1 音声言語
スピーカーから出力される音声言語が設定できます。
- 2 字幕言語
テレビに表示される字幕言語が設定できます。
- 3 メニュー言語
タイトルメニュー(ディスクに記録されているメニュー)などの画面言語が設定できます。



RETURN (リターン) ボタン

番号ボタン

SET UP (初期設定) ボタン

4 カーソルボタン (▲▼) で、 設定する内容を選び、SELECT (選択) ボタンを押す

「1 音声言語」を選んだ場合

- 1 日本語 (工場出荷時)
日本語の音声で再生したいとき選びます。
- 2 英語
英語の音声で再生したいとき選びます。
- 3 オリジナル
ディスク内の最優先音声で再生したいとき選びます。
- 4 その他 * * * *
上記以外の音声で再生したいとき選びます。
番号ボタンで 39 ページの言語番号 (4 ケタ) を入力してください。

「2 字幕言語」を選んだ場合

- 1 オート (工場出荷時)
音声言語に応じて、字幕言語を自動設定します。
音声で「1 音声言語」で設定した言語で再生されたときは、字幕を表示しません。
音声で「1 音声言語」で設定した言語で再生されなかったときは、その言語で字幕を表示します。

- 2 日本語
日本語の字幕で再生したいとき選びます。
- 3 英語
英語の字幕で再生したいとき選びます。
- 4 その他 * * * *
上記以外の字幕で再生したいとき選びます。
番号ボタンで 39 ページの言語番号 (4 ケタ) を入力してください。

「3 メニュー言語」を選んだ場合

- 1 日本語 (工場出荷時)
日本語の画面で表示したいとき選びます。
- 2 英語
英語の画面で表示したいとき選びます。
- 3 その他 * * * *
上記以外の画面で表示したいとき選びます。
番号ボタンで 39 ページの言語番号 (4 ケタ) を入力してください。

設定が終了し、手順 3 の画面に戻ります。

1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
リターン (RETURN) ボタンを押す
初期設定を終了するときは
初期設定画面 (37 ページ手順 1) で、SET UP
(初期設定) ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

言語番号一覧表

| 番号 | 言語名 | 番号 | 言語名 | 番号 | 言語名 |
|------|--------------|------|-----------|------|---------|
| 6565 | アフアル | 7384 | イタリア | 8376 | スロベニア |
| 6566 | アプハジア | 7387 | ヘブライ | 8377 | サモア |
| 6570 | アフリカーンス | 7465 | 日本語 | 8378 | ショナ |
| 6577 | アムハラ | 7473 | イディッシュ | 8379 | ソマリ |
| 6582 | アラビア | 7487 | ジャワ | 8381 | アルバニア |
| 6583 | アッサム | 7565 | グルジア | 8382 | セルビア |
| 6588 | アイマラ | 7575 | カザフ | 8385 | スンダ |
| 6590 | アゼルバイジャン | 7576 | グリーンランド | 8386 | スウェーデン |
| 6665 | バシキール | 7577 | カンボジア | 8387 | スワヒリ |
| 6669 | ベロルシア(白ロシア) | 7578 | カナダ | 8465 | タミル |
| 6671 | ブルガリア | 7579 | 韓国(朝鮮)語 | 8469 | テルグ |
| 6672 | ビハール | 7583 | カシミール | 8471 | タジク |
| 6678 | ベンガル(バングラ) | 7585 | クルド | 8472 | タイ |
| 6679 | チベット | 7589 | キルギス | 8473 | ティグリニア |
| 6682 | ブルターニュ | 7665 | ラテン | 8475 | トルクメン |
| 6765 | カタロニア | 7678 | リンガラ | 8476 | タガログ |
| 6779 | コルシカ | 7679 | ラオ | 8479 | トンガ |
| 6783 | チェコ | 7684 | リトアニア | 8482 | トルコ |
| 6789 | ウェールズ | 7686 | ラトビア(レット) | 8484 | タタール |
| 6865 | デンマーク | 7771 | マダガスカル | 8487 | トウイ |
| 6869 | ドイツ | 7773 | マオリ | 8575 | ウクライナ |
| 6890 | ブータン | 7775 | マケドニア | 8582 | ウルドゥー |
| 6976 | ギリシャ | 7776 | マラヤーラム | 8590 | ウズベク |
| 6978 | 英語 | 7778 | モンゴル | 8673 | ベトナム |
| 6979 | エスペラント | 7779 | モルダビア | 8679 | ヴォラピュック |
| 6983 | スペイン | 7782 | 馬拉ッタ | 8779 | ウォロフ |
| 6984 | エストニア | 7783 | マライ(マレー) | 8872 | コーサ |
| 6985 | バスク | 7784 | マルタ | 8979 | ヨルバ |
| 7065 | ベルシャ | 7789 | ビルマ | 9072 | 中国語 |
| 7073 | フィンランド | 7865 | ナウル | 9085 | ズールー |
| 7074 | フィジー | 7869 | ネパール | | |
| 7079 | フェロー | 7876 | オランダ | | |
| 7082 | フランス | 7879 | ノルウェー | | |
| 7089 | フリジア | 7982 | オーリヤ | | |
| 7165 | アイルランド | 8065 | パンジャブ | | |
| 7168 | (スコットランド)ゲール | 8076 | ポーランド | | |
| 7176 | ガリチア | 8083 | パシュト | | |
| 7178 | グアラニー | 8084 | ポルトガル | | |
| 7185 | グジャラト | 8185 | ケチュア | | |
| 7265 | ハウサ | 8277 | レトロマンズ | | |
| 7273 | ヒンディー | 8279 | ルーマニア | | |
| 7282 | クロアチア | 8285 | ロシア | | |
| 7285 | ハンガリー | 8365 | サンスクリット | | |
| 7289 | アルメニア | 8368 | シンド | | |
| 7365 | インターリングア | 8372 | セルボクロアチア | | |
| 7378 | インドネシア | 8373 | シンハラ | | |
| 7383 | アイスランド | 8375 | スロバキア | | |

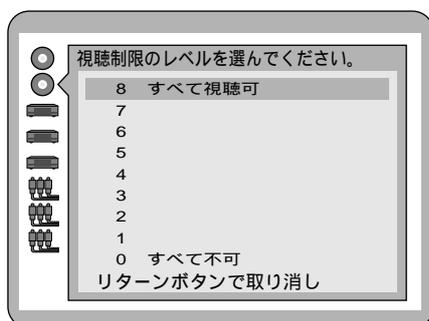
初期設定を変更する (つづき)

「2 視聴制限」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

視聴制限されていない場合 (レベル 8)

3 カーソルボタン (▲▼) で、 視聴制限レベルを選び、 SELECT (選択) ボタンを押す



レベル 8 (工場出荷時)

すべての DVD ソフト (成人向け/一般向け/子供向け) を再生したいときに選びます。

レベル 7 ~ レベル 2

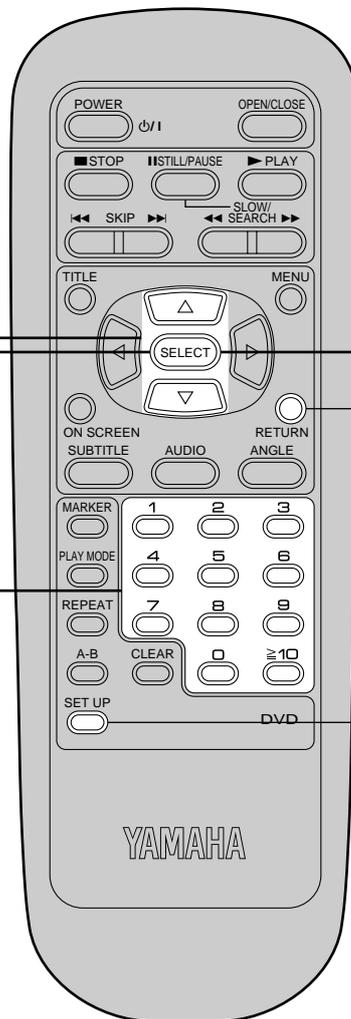
一般向けと子供向けの DVD ソフトのみを再生したいときに選びます。
(成人向け DVD ソフトの再生を禁止します)

レベル 1

子供向けの DVD ソフトのみを再生したいときに選びます。
(成人向けと一般向けの DVD ソフトの再生を禁止します)

レベル 0

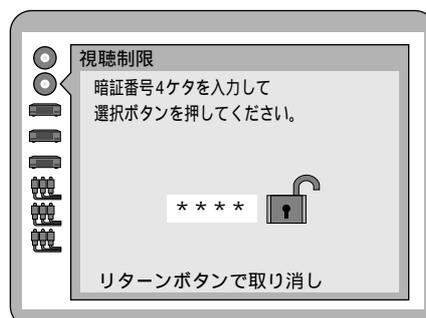
すべての DVD ソフトの再生を禁止したいときに選びます。
例えば、視聴制限が記録されていない成人向け DVD ソフトの再生を禁止したいときなど。



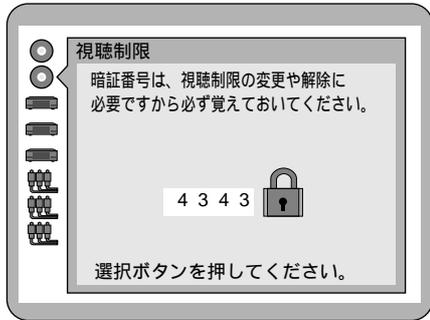
4 レベル 7 以下を選んだときは、番号ボタンで、 暗証番号 (4 ケタ) を入力し、 SELECT (選択) ボタンを押す

暗証番号は、忘れないようにしてください。
ロックすると、正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できなくなります。

例) 「レベル 7」を選んだ場合



5 SELECT(選択)ボタンを押す



設定が終了し、初期設定画面 (☞37 ページ手順 1) に戻ります。

1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
RETURN (リターン) ボタンを押す

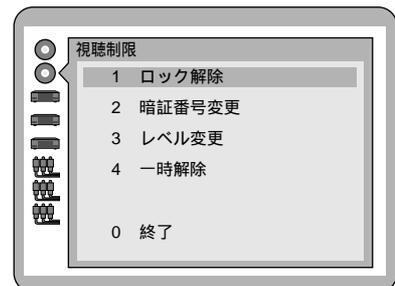
初期設定を終了するときは
初期設定画面(☞37 ページ手順 1)で、SET UP
(初期設定)ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

視聴制限されている場合 (レベル 0 ~ 7)

3 番号ボタンで、正しい暗証番号を入力し、SELECT(選択)ボタンを押す



4



視聴制限を解除するときは
番号ボタンの 1 を押し、SELECT(選択)ボタンを押す

暗証番号を変更するときは
1. 番号ボタンの 2 を押す
2. 番号ボタンで暗証番号を入力し、SELECT
(選択) ボタンを押す
3. SELECT (選択) ボタンを押す

視聴制限レベルを変更するときは
1. 番号ボタンの 3 を押す
2. カーソルボタン (▲▼) でレベルを選び、
SELECT (選択) ボタンを押す

視聴制限レベルを一時的に解除するときは
1. 番号ボタンの 4 を押す
2. SELECT (選択) ボタンを押す
この一時解除の状態は、電源を切るか、本機の
トレイを開ければ、元のロック状態に戻ります。

視聴制限レベルを変更せず終了するときは
番号ボタンの 0 を押す

設定が終了し、初期設定画面
(☞37 ページ手順 1) に戻ります。

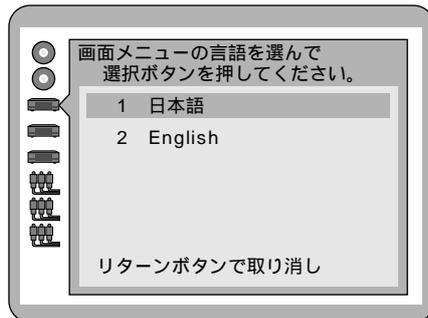
初期設定を変更する (つづき)

「3 画面メニュー言語」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

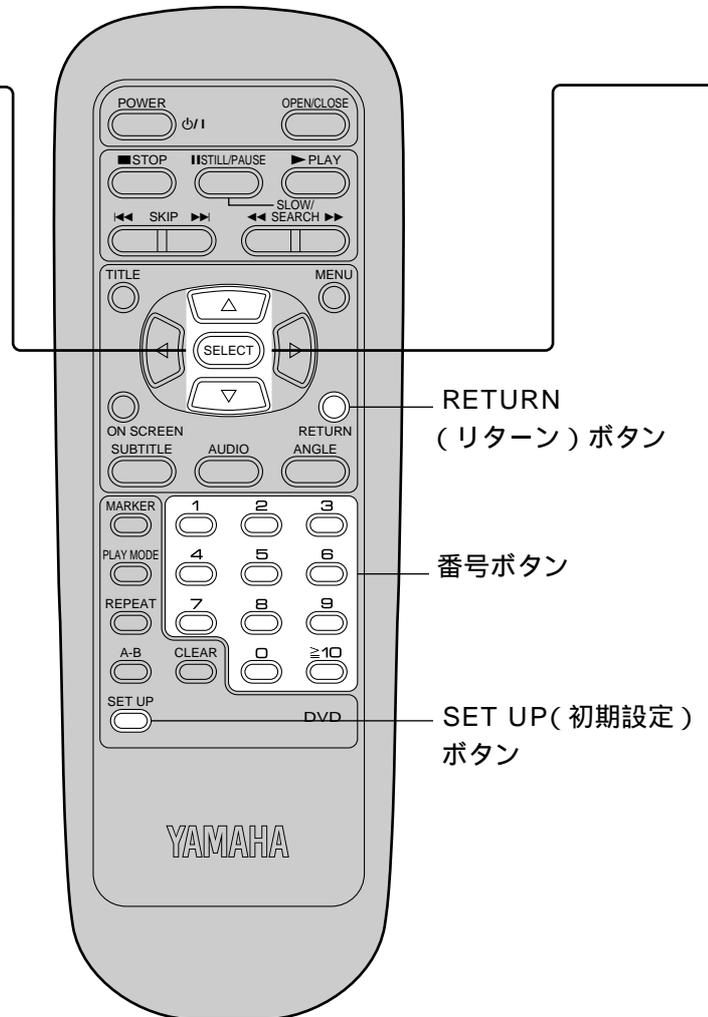
3

カーソルボタン(▲▼)で、画面メニュー言語を選び、SELECT(選択)ボタンを押す



- 1 日本語 (工場出荷時)
初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される“再生”などの言語を日本語に設定します。
- 2 English
初期設定画面の言語やテレビ画面に表示される“再生”などの言語を英語に設定します。

設定が終了し、初期設定画面 (37 ページ手順 1)に戻ります。



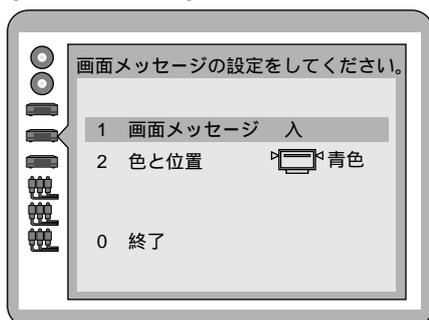
1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
RETURN (リターン) ボタンを押す

初期設定を終了するときには
初期設定画面 (37 ページ手順 1)で、SET UP
(初期設定) ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

「4 オンスクリーン」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

3 カーソルボタン(▲▼)で、 選択する項目を選び、 選択(SELECT)ボタンを押す



- 1 画面メッセージ
“再生”や“停止”などの表示を常にテレビ画面に表示するかどうかを設定します。
- 2 色と位置
“再生”や“停止”などの表示およびGUI画面の色(青/紫/緑)と位置(上/少し下)を設定します。

4 カーソルボタン(▲▼)で、 選択する内容を選び、 選択(SELECT)ボタンを押す

「1 画面メッセージ」を選んだ場合

- 1 入(工場出荷時)
“再生”や“停止”などの表示が常にテレビ画面に出るよう設定します。
- 2 切
“再生”や“停止”などの表示がテレビ画面に出ないように設定します。

「2 色と位置」を選んだ場合

- 1  青色(工場出荷時)
- 2  紫色
- 3  緑色
- 4  青色
- 5  紫色
- 6  緑色

各々の色と位置
に設定します。

設定が終了し、手順 3 の画面に戻ります。

お知らせ

 に設定すると、“再生”や“停止”などの表示およびGUI画面が、工場出荷時の位置に対して少し下に表示されます。画面が欠けて表示される場合などに選んでください。

1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
リターン(RETURN)ボタンを押す

初期設定を終了するときは
初期設定画面(☞37 ページ手順 1)で、SET UP
(初期設定)ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

初期設定を変更する (つづき)

「5 FL ディマー」を選んだとき

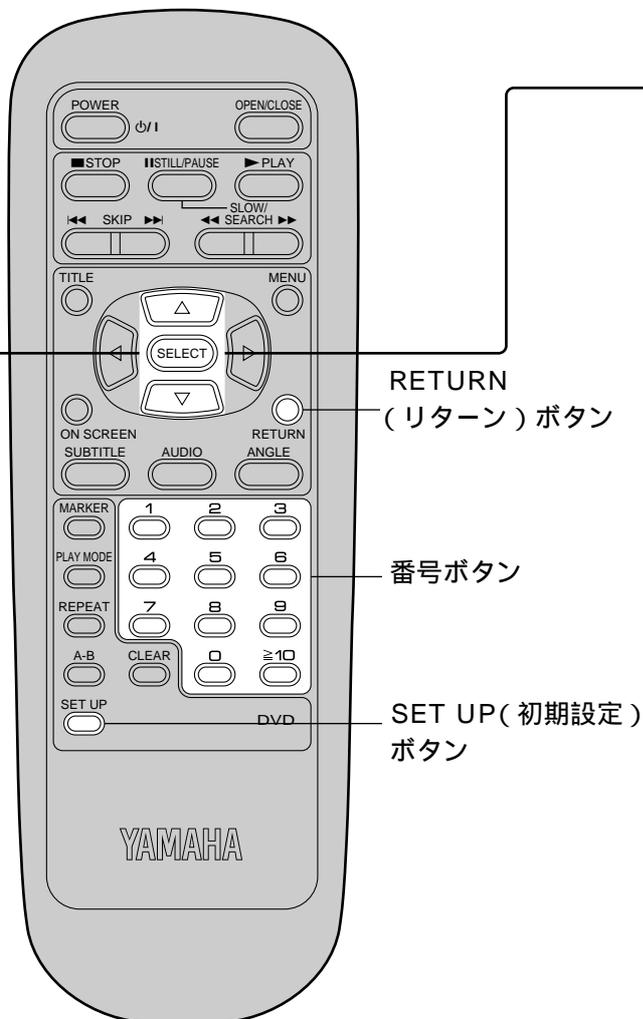
手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

3 カーソルボタン (▲▼) で、
本体表示窓の明るさを選び、
SELECT (選択) ボタンを押す



- 1 常時 明 (工場出荷時)
表示窓の表示が常に明るいように設定します。
- 2 常時 暗
表示窓の表示が常に暗いように設定します。
- 3 DVD/VCD 再生時 暗 (オート)
DVD やビデオ CD の再生時のみ、表示窓の表示が暗くなるよう設定します。
スロー再生、早送り/早戻し中は、一時的に明るくなります。

設定が終了し、初期設定画面 (37 ページ手順 1) に戻ります。



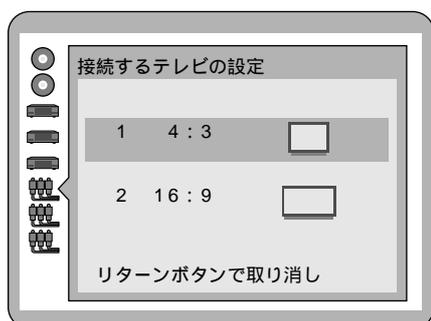
1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
RETURN (リターン) ボタンを押す

初期設定を終了するときは
初期設定画面 (37 ページ手順 1) で、SET UP (初期設定) ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

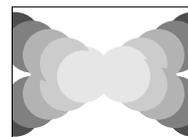
「6 接続するTV」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

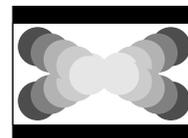
3 カーソルボタン(▲▼)で、 接続したテレビの画面サイズ を選び、SELECT(選択)ボ タンを押す



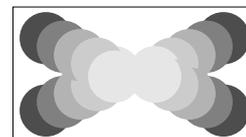
- 1 4 : 3 (工場出荷時)
従来サイズのテレビに接続したときに選びます。
パン&スキャン指定されたワイドソフトは、
パン&スキャン画面(左右の切れた画面)で
再生されます。



パン&スキャン指定のないワイドソフトは、レ
ターボックス画面(上下に黒い帯のある画面)
で再生されます。



- 2 16 : 9
ワイドテレビに接続したときに選びます。
ワイドソフトは、フル画面で再生されます。
(ワイドテレビの画面モードを「フル」に設定し
てください)



4 カーソルボタン(▲▼)で、 接続したテレビのタイプを選び、 SELECT(選択)ボタンを押す

「1 4 : 3」を選んだ場合
「2 16 : 9」を選んだ場合
いずれの場合も、右の項目が選択できます。

- 1 標準(ブラウン管テレビ)(工場出荷時)
普通のテレビに接続したとき選びます。
- 2 3管式プロジェクター
3管式プロジェクターに接続したとき選びます。
- 3 液晶プロジェクター
液晶プロジェクターに接続したとき選びます。
- 4 プロジェクションテレビ
プロジェクションテレビに接続したとき選びます。

設定が終了し、初期設定画面
(☞37 ページ手順 1)に戻ります。

1 つ手前のメニュー画面に戻るときは
RETURN (リターン) ボタンを押す

初期設定を終了するとき
初期設定画面 (☞37 ページ手順 1) で、SET UP
(初期設定) ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

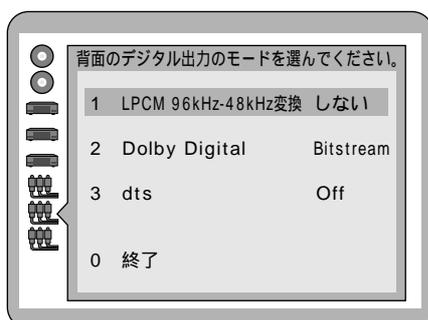
必要なとき

初期設定を変更する (つづき)

「7 デジタル出力」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

3 カーソルボタン (▲▼) で、音声出力の種類を選び、SELECT (選択) ボタンを押す



- 1 LPCM 96kHz-48kHz 変換
96kHz のリニア PCM で記録された DVD の再生時に、デジタル音声出力端子 (光/同軸) から 48kHz/16bit に変換して出力するか、しないかを選ぶことができます。
(48kHz のリニア PCM で記録された DVD の再生時は、設定に関係なく、48kHz/16bit に変換してデジタル出力します)
- 2 Dolby Digital
ドルビーデジタルで記録された DVD の再生時に、デジタル音声出力端子 (光/同軸) から出力される信号形式 (Bitstream/PCM) を選ぶことができます。
- 3 dts
dts で記録された DVD の再生時に、デジタル音声出力端子 (光/同軸) から dts ビットストリームを出力するか、しないかを選ぶことができます。

4 カーソルボタン (▲▼) で、設定する内容を選び、SELECT (選択) ボタンを押す

「1 LPCM 96kHz-48kHz 変換」を選んだ場合

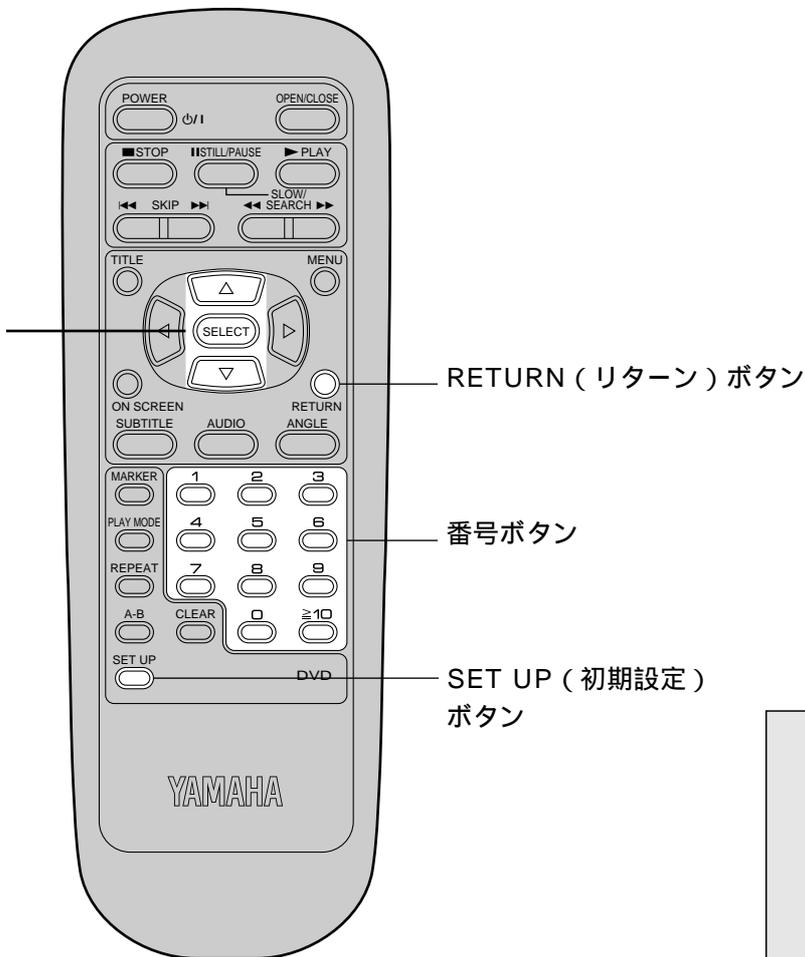
- 1 しない (工場出荷時)
48kHz のリニア PCM 音声で記録された DVD の再生時は、48kHz/16bit でデジタル出力します。
96kHz のリニア PCM 音声で記録された DVD の再生時は、デジタル出力しません。
ただし、著作権保護のための処理がされていない DVD の場合には、そのままの音声記録方式で出力されます。
- 2 する
48kHz、96kHz のリニア PCM 音声で記録された DVD の再生時は、48kHz/16bit に変換してデジタル出力します。
(PCM 音声のデジタル出力は、著作権への配慮から 48kHz/16bit 以下となります)

「2 Dolby Digital」を選んだ場合

- 1 Bitstream (工場出荷時)
ドルビーデジタルで記録された DVD の再生時は、ドルビーデジタルビットストリーム (1ch ~ 5.1ch) 音声を出します。ドルビーデジタルデコーダー内蔵 AV アンプを接続するとき選びます。
- 2 PCM
ドルビーデジタルで記録された DVD の再生時は、48kHz/16bit の PCM (2ch) に変換して出力します。

「3 dts」を選んだ場合

- 1 Off (工場出荷時)
dts で記録された DVD の再生時は、デジタル出力しません。
- 2 Bitstream
dts で記録された DVD の再生時は、dts ビットストリーム音声を出します。dts デコーダー内蔵 AV アンプを接続するとき選びます。



1 つ手前のメニュー画面に戻るときは
RETURN (リターン) ボタンを押す

初期設定を終了するとき
初期設定画面 (☞37 ページ手順 1) で、SET UP
(初期設定) ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

「デジタル出力」の推奨設定について

デジタル音声出力端子に接続する機器により、「デジタル出力」の設定が異なります。

下表を参考に設定してください。

| デジタル音声出力端子 | 「7 デジタル出力」の設定 | | |
|--|----------------------|--------------------|---------------|
| | 1 LPCM 96kHz-48kHz変換 | 2 Dolby Digital | 3 dts |
| デジタル音声出力端子に、 機器を接続しない場合 | 1 しない (工場出荷時) | 1 Bitstream(工場出荷時) | 1 Off (工場出荷時) |
| デジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル デコーダー内蔵 AV アンプを接続する場合 (☞14 ページ) | 2 する <注 1> | 1 Bitstream(工場出荷時) | 1 Off (工場出荷時) |
| デジタル音声出力端子に、 ドルビーデジタルデコーダー / dts デコーダー 内蔵 AV アンプを接続する場合(☞14 ページ) | 2 する <注 1> | 1 Bitstream(工場出荷時) | 2 Bitstream |

<注 1> 本機の音声出力端子から出力される音声は、デジタル音声出力端子同様、48kHzに変換されます。
96kHzの高音質ソフトを楽しみたいときは、アンプやデコーダー等の機器をデジタル音声出力端子に接続せず
(「LPCM 96kHz-48kHz変換」を「1 しない」に設定)、直接音声出力端子に接続してください。

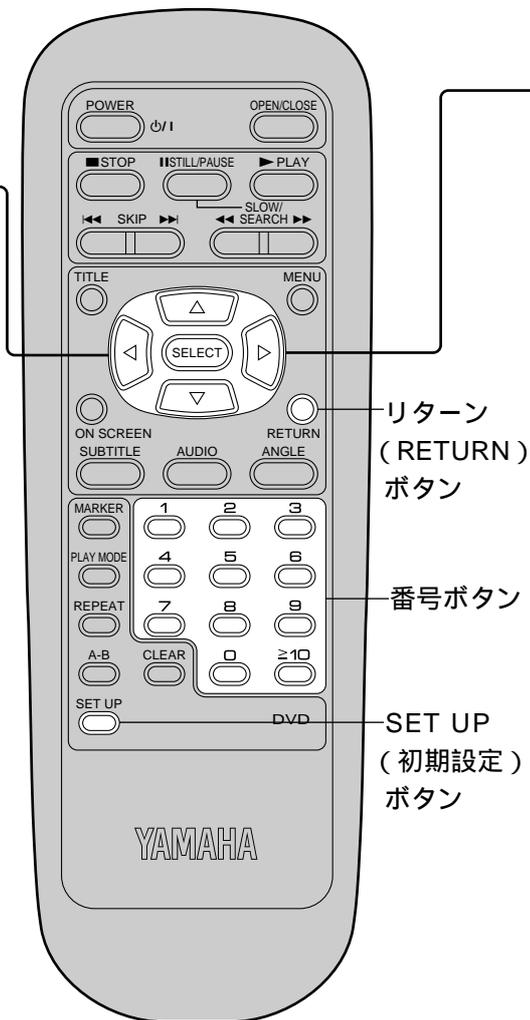
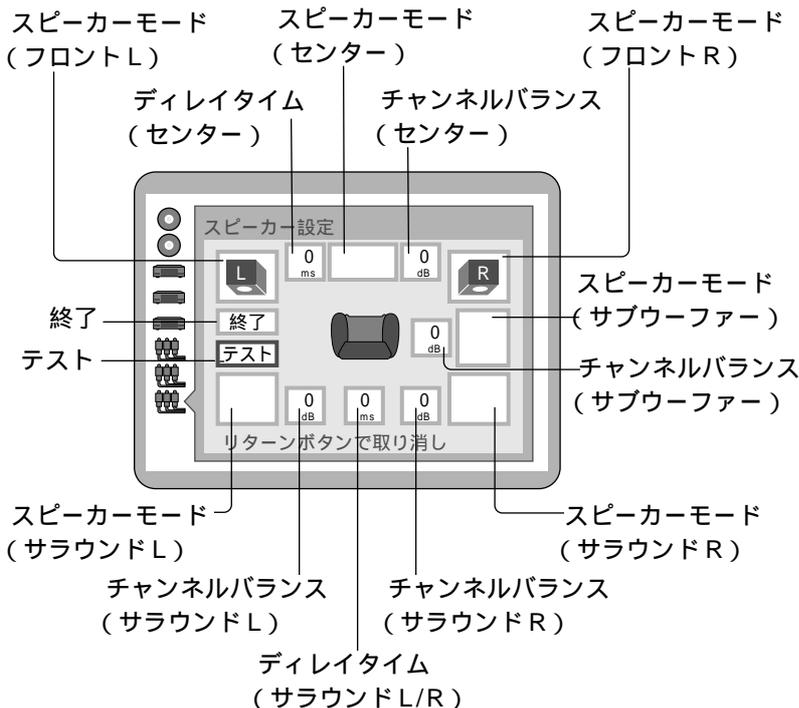
必要なとき

初期設定を変更する (つづき)

「8 スピーカー設定」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

3 カーソルボタン (▲▼◀▶) で、設定する項目を選び、SELECT (選択) ボタンを押す



スピーカーモードの設定

お使いのスピーカーシステムに応じて、スピーカーの有無とサイズが設定できます。(工場出荷時には、下線部に設定されています)

| | |
|------------------|------------------------------------|
| フロントスピーカー (L/R) | : あり (<u>ラージ</u>) / あり (スモール) |
| センタースピーカー | : なし / あり (ラージ) / あり (スモール) |
| サブウーファー | : なし / あり |
| サラウンドスピーカー (L/R) | : <u>なし</u> / あり (ラージ) / あり (スモール) |

ディレイタイム (遅延時間) の設定

センタースピーカー/サラウンドスピーカーから出力される音に遅延効果を与え、スピーカーの位置を理想の視聴ポジションにするよう設定できます。
工場出荷時は、すべて「0 ms」です。

テスト

本機内蔵のテスト信号を各スピーカー (サブウーファー除く) から出力します。チャンネルバランスの設定時に選びます。

チャンネルバランスの設定

本機内蔵のテスト信号を使って、各スピーカーの出力レベルが調節できます。
出力レベルの調節は、必ず視聴位置で行ってください。
工場出荷時は、すべて「0 dB」です。

4

カーソルボタン(▲▼)で、設定する内容を選び、SELECT(選択)ボタンを押す

「スピーカーモードの設定」を選んだ場合

100Hz以下の低周波数の再生能力があるスピーカーを接続したときは、「あり(ラージ)」を選びます。
100Hz以下の低周波数の再生能力がないスピーカーを接続したときは、「あり(スモール)」を選びます。
サブウーファーを接続しない場合、フロントスピーカー(L/R)は、必ず「あり(ラージ)」に設定してお使いください。

スピーカーを接続していないときは、「なし」を選びます。

(フロントスピーカーの「なし」と、サブウーファーのサイズは選べません)

例) サラウンドスピーカー(L)の場合

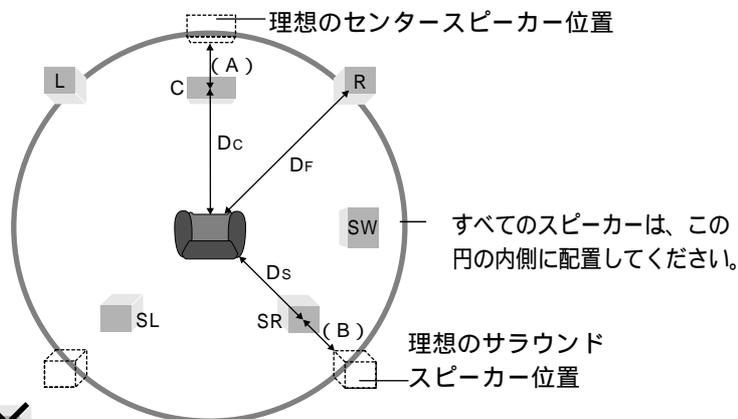


「ディレイタイムの設定」を選んだ場合

5.1ch サラウンド再生の場合、視聴位置は、すべてのスピーカーとの距離が等しいことが理想とされます。

センター/サラウンドスピーカーにディレイタイムを設定することで、仮想的に理想の視聴ポジションを実現します。

(センター/サラウンドスピーカーを、下図の□の位置に配置したように設定できます)



センタースピーカーの設定

左図の D_f と D_c が等しい場合や D_c の方が大きい場合、0ms に設定してください。

$$(A) = D_f - D_c$$

| (A) の距離 | 設定値 |
|----------|--------|
| 約 50 cm | 1.3 ms |
| 約 100 cm | 2.6 ms |
| 約 150 cm | 3.9 ms |
| 約 200 cm | 5.3 ms |

サラウンドスピーカーの設定

左図の D_f と D_s が等しい場合、0ms に設定してください。

$$(B) = D_f - D_s$$

| (B) の距離 | 設定値 |
|----------|---------|
| 約 200 cm | 5.3 ms |
| 約 400 cm | 10.6 ms |
| 約 600 cm | 15.9 ms |

「テスト」を選んだ場合

フロントスピーカー(L)から時計回りの順に、

ザーザーというテスト信号を出力します。

本機内蔵のテスト信号が同じ音量で聞こえるよう

チャンネルバランスを調節してください。SELECT(選択)ボタンを押すまで出力します。



お知らせ

サブウーファーからはテスト信号が出力されませんが、視聴されるディスクに応じてチャンネルバランスを調整してください。

設定が終了します。

(「終了」を選ぶと、初期設定画面に戻ります)

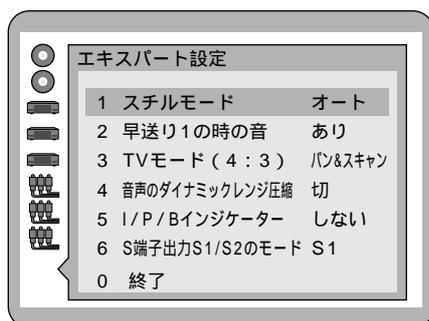
1つ手前のメニュー画面に戻るときは RETURN(リターン)ボタンを押す
初期設定を終了するとき
初期設定画面(☞37ページ手順1)で、SET UP(初期設定)ボタンまたは、番号ボタンの0を押す

初期設定を変更する (つづき)

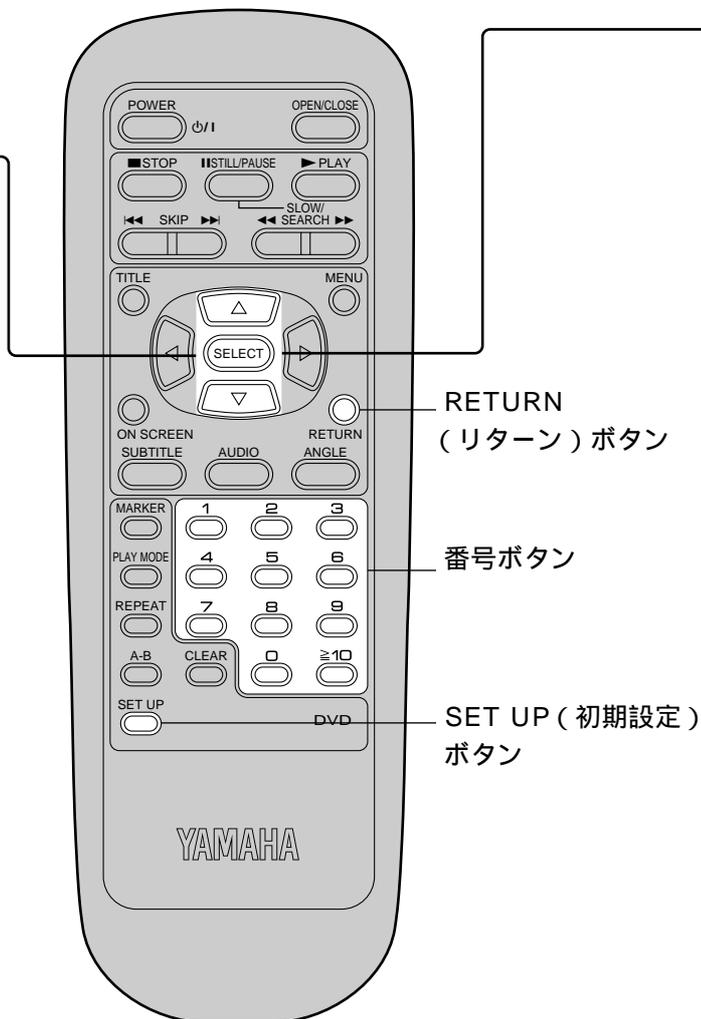
「9 エキスパート設定」を選んだとき

手順 1、2 は 37 ページをお読みください。

3 カーソルボタン (▲▼) で、
設定する項目を選び、
SELECT (選択) ボタンを
押す

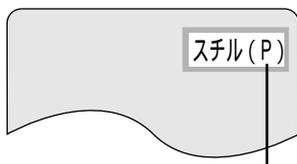


- 1 スチルモード**
静止中の画面に発生する画像のブレを抑えたり、小さな文字や細かい絵柄がはっきり見えるよう設定できます。
- 2 早送り1の時の音**
早送り1速時の音声の有無が設定できます。
- 3 TVモード(4:3)**
従来サイズのテレビで、ワイドソフトを再生したときのテレビ画面表示が設定できます。
- 4 音声のダイナミックレンジ圧縮**
ディスクを再生したときに出力される音の音域が設定できます。
- 5 I/P/Bインジケータ**
静止時にDVDの画像の種類(I/P/B)をテレビ画面に表示するか、しないかを選ぶことができます。
- 6 S端子出力S1/S2のモード**
S映像出力端子S1/S2から出力される映像信号の切り換えが設定できます。



お知らせ

「5 I/P/Bインジケータ」で「2 する」を選ぶと、静止時に以下のような画面が表示されます。



例) P-Picture の場合

1 つ手前のメニュー画面に戻すときは
RETURN (リターン) ボタンを押す

初期設定を終了するときは
初期設定画面 (37 ページ手順 1) で、SET UP
(初期設定) ボタンまたは、番号ボタンの 0 を押す

4 カーソルボタン(▲▼)で、設定する項目を選び、SELECT(選択)ボタンを押す

「1 スチルモード」を選んだ場合

- 1 オート(工場出荷時)
通常は「オート」を選びます。
フレームスチルモードまたは、フィールドスチルモードを自動的に切り換えます。
- 2 フィールド
強制的にフィールドスチルモードにします。
「オート」設定時に、画像のブレが発生するとき選びます。
- 3 フレーム
強制的にフレームスチルモードにします。
「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないとき選びます。

「2 早送り1の時の音」を選んだ場合

- 1 あり(工場出荷時)
早送り1速時に音を出したいとき選びます。
(雑音が気になるときは「なし」を選んでください)
- 2 なし
早送り1速時に音を消したいとき選びます。

「3 TVモード(4:3)」を選んだ場合

- 1 パン&スキャン(工場出荷時)
ワイドソフトを再生したときにパン&スキャン(左右の切れた画面)で再生したいとき選びます。
ただし、パン&スキャン指定されていないソフトは、レターボックスで再生されます。
- 2 レターボックス
ワイドソフトを再生したときにレターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生したいとき選びます。

「4 音声のダイナミックレンジ圧縮」を選んだ場合

- 1 切(工場出荷時)
標準的な音域に設定します。
- 2 入
小さな音量でも迫力のある音にしたいときに選びます。
ダイナミックレンジ圧縮は、音声信号のダイナミックレンジ(再生レベルの範囲)を狭くする機能です。
深夜に映画を楽しむときなど、大音量を控えたいときに使います。
(ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生中に限ります)

「5 I/P/Bインジケータ」を選んだ場合

- 1 しない(工場出荷時)
静止時に画像の種類(I/P/B)をテレビ画面に表示したくないとき選びます。
- 2 する
静止時に画像の種類(I/P/B)をテレビ画面に表示したいとき選びます。

「6 S端子出力S1/S2のモード」を選んだ場合

- 1 S1(工場出荷時)
テレビのS映像入力端子またはS1映像入力端子に接続しているときに選びます。
S映像出力端子S1/S2からS1映像信号が出力されます。
(ワイド画面(16:9)の映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的に「フル」モードに切り換わります)
- 2 S2
テレビのS2映像入力端子に接続しているときに選びます。
S映像出力端子S1/S2からS2映像信号が出力されます。
(S1の機能に加えて、レターボックスの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的に「ズーム」モードに切り換わります)

設定が終了し、手順3の画面に戻ります。

用語解説

I/P/B

DVDで採用されているMPEG2は、テレビの1画面(フレーム)を、以下の3つのピクチャータイプで符号化します。

I : I-Picture (フレーム内符号化)

基準の画面であり、一枚単独で画像を符号化する。もっとも画質がよい画面なので、画質調整をするときには、Iピクチャーで静止することをおすすめします。

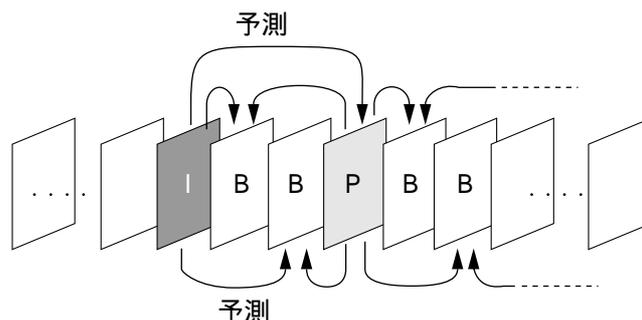
P : P-Picture (前方向予測符号化)

過去のIピクチャーまたは、Pピクチャーから算出される画面。

B : B-Picture (両方向予測符号化)

前後のIピクチャーまたは、Pピクチャーから比較、算出される画面で、持っている情報量はもっとも少ない。

一般的なピクチャータイプの構成



必要なとき

困ったとき!?

本機を使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しないとき、あるいは下記以外で何らかの異常が認められましたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

| こんなときは | ここをお確かめください | 参 照 ペ - ジ |
|--|---|-------------------|
| 電源が入らない。 | 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。 | 14 |
| 勝手に電源が切れる。 | 停止状態で約30分経過すると、節電のため、自動的にスタンバイ状態になります(オートパワーオフ)。再度電源を入れ直してください。 | 19 |
| PLAY(再生)ボタンを押しても、再生が始まらない。 または、すぐに停止する。 | 露付きが発生している。(1~2時間放置してください) DVD、ビデオCD、音楽CD以外のディスクは再生できません。 ディスクがよごれているので、きれいにふいてください。 ラベル印刷面を上にして、正しく入れてください。 | - 3 9 18 |
| 映像が映らない。 | 接続を確認してください。 テレビの入力切換を「ビデオ」にしてください。 | 14~17 18 |
| 音が聞こえない。 または、聞きづらい。 | 接続を確認してください。 テレビ、ステレオなどの入力切換を正しくしてください。 マスターボリュームを調節してください。 | 14~17 - 26 |
| ビデオCDのメニュー再生ができない。 | プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。 | 19 |
| 早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。 | 多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。 | - |
| 各ボタン操作ができない。 | ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 POWER(電源)スイッチを一度、「切」「入」してください。または、電源を切って電源プラグを抜き、もう一度差し込んでください。(落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります) | 18 - |
| 字幕が出ない。 | 字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 字幕が「切」になっているので、字幕を「入」にしてください。 | - 35 |
| 音声(または字幕)言語が切り換えられない。 | 複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。 音声(または字幕)切り換え操作では切り換えできないが、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。 | - 36 |
| アングルを変えて見るができない。 | 複数のアングルが記録されていないDVDはアングルを切り換えることができません。また、複数のアングルは特定の場面(再生中なら本体表示窓に“ANGLE”が点灯)のみ記録されているものがあります。 | 35 |
| タイトルを選んでも再生が始まらない。 | 初期設定の「2 視聴制限」の設定を確認してください。 | 40 |
| 視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。 初期設定のすべての項目を、工場出荷時設定に戻す。 | 以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 停止状態で、本体のPAUSE(一時停止)ボタンとSKIP(スキップ)ボタン(戻し方向)を押しながら、OPEN/CLOSE(開閉)ボタンを3秒以上押し続けてください。(テレビ画面の“オールクリア”が消えたことを確認してください) | - |

| こんなときは | ここをお確かめください | 参 照 ペ ージ |
|--|--|----------------------------|
| 初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。 | DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは、選んでいる言語になりません。 | 38 |
| 4 : 3 (16 : 9) の画像で映らない。 | お手持ちのテレビに合わせて、「6 接続するTV」の項目を正しく設定してください。 | 45 |
| ボタン操作したとき、画面メッセージが出ない。 | 初期設定の「4 オンスクリーン」の「1 画面メッセージ」を「入」にしてください。 | 43 |
| 希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。 | 初期設定の「1 ディスク言語」の「3 メニュー言語」を確認してください。 | 38 |
| サラウンドで聞こえない。 | 初期設定の「8 スピーカー設定」の項目を正しく設定してください。 | 48 |
| リモコンで操作できない。 | 乾電池は、 \oplus \ominus を確かめて正しく入れてください。 乾電池が消耗しているので、新しいものに交換してください。 リモコン受信部に向けて操作してください。 リモコン受信部との距離が7m以内のところで操作してください。 リモコン受信部との間にある障害物を取り除いてください。 | 13 13 13 13 13 |
| テレビ画面にGUI画面が表示されない。 (または一部しか表示されない) | 初期設定の「4 オンスクリーン」の「2 色と位置」でGUI画面の位置を変更してください。 | 43 |

サービス番号が表示されたら

本機は使用中に異常を検出すると、表示窓にサービス番号を表示します。

| サービス番号 | 本機の状態 | 処置のしかた |
|----------------|---------------------------------------|--|
| U 1 1 | ディスクがよごれている。 | きれいにふく。 (処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください) |
| H は数字を表示します | 異常とされます。 「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります。 | 電源を一度、「切」「入」してみる。または電源を切って電源プラグを抜き、もう一度差し込む。 (処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください) |

処置をされても「サービス番号」を表示するときは

お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に修理をご依頼ください。

修理を依頼されるときは

表示窓のサービス番号をお知らせください。

(例)「H 0 1」と表示しているときは、「サービス番号、H 0 1」とお知らせください!

定 格

| | |
|------|-------------------------------|
| 電源 | AC100 V 50 / 60 Hz |
| 消費電力 | 15 W (本体またはリモコンで電源「切」時 約 1 W) |

| | | | |
|--------|---|----------|---|
| 信号形式 | NTSC | 音声出力 | 出力レベル : 2 Vrms (1 kHz、0dB) |
| 質量 | 4.2 kg | | 出力端子 : ピンジャック |
| 外形寸法 | 473 (幅) × 263 (奥行) × 100 (高さ) mm、突起物を含まず | 端子数 : | 5.1ch ミックス出力 (2ch) : 1 系統 |
| 許容周囲温度 | +5 ~ 35 | | 5.1ch ディスクリート出力 (5.1ch) : 1 系統 |
| 許容相対湿度 | 5 ~ 90 % RH (結露なきこと) | 音声出力特性 | (1) 周波数特性 DVD (リニア音声) 2 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプルング) 2 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプルング) CD 2 Hz ~ 20 kHz (EIAJ) |
| 対応ディスク | (1) DVD - VIDEO ディスク 12 cm 片面 1 層 12 cm 片面 2 層 12 cm 両面 (各面 1 層) 8 cm 片面 1 層 8 cm 片面 2 層 8 cm 両面 (各面 1 層) | | (2) S / N 比 CD 115 dB (EIAJ) |
| | (2) コンパクトディスク (CD - DA、VIDEO CD) 12 cm ディスク 8 cm ディスク | | (3) ダイナミックレンジ DVD (リニア音声) 103 dB CD 100 dB (EIAJ) |
| | コンポーネント映像出力 | | Y 出力レベル : 1 Vp-p (75) C _B 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) C _R 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック (Y:緑、C _B :青、C _R :赤) |
| S 映像出力 | Y 出力レベル : 1 Vp-p (75) C 出力レベル : 0.286 Vp-p (75) 出力端子 : S 端子 端子数 : 2 系統 | デジタル音声出力 | 出力端子 : 光デジタル出力 : 光コネクタ 同軸デジタル出力 : ピンジャック |
| 映像出力 | 出力レベル : 1 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック 端子数 : 2 系統 | ヘッドホン端子 | 出力端子 : ステレオ標準ジャック |

本製品のデザイン、仕様は改善等のため予告なしに変更することがあります。
本書は改善のため予告なしに変更することがあります。

本機は日本国内専用です。
外国では、放送方法、電源電圧が異なるため使用できません。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

| | | | |
|--------|---------|--------------|--------------------|
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 品 番 | DVD-S795 |
| 販売店名 | ☎ () - | お客様 ご相談窓口 | ☎ (03) 5488 - 5500 |

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様ご相談センター
TEL (03) 5488 - 5500

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488 - 6625
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内
TEL (087) 822 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
営業部 TEL (053) 460 - 3451
品質保証室 TEL (053) 460 - 3405
住所および電話番号は変更になることがあります。